

# 令和4年度事業報告書



## 目次

1. 基幹産業としての観光への取組	5
(1) 観光産業発展に向けた政策活動	5
1) 観光施策（予算等）に向けた提言及び省庁・諸団体との連携・協議による旅行需要促進	5
2) デジタル化による生産性向上の促進	7
(2) 観光産業のプラットフォームとしてネットワークを活用した観光立国の実現	8
1) 国際往来再開を見据えたウィズコロナ・アフターコロナの観光立国推進	8
2) 観光（業界）広報機能の拡充	8
(3) ニューノーマル時代における新たな観光魅力の創造	8
1) テーマ別観光の推進	9
2) 広域観光の促進	14
(4) 国際交流（双方向交流）の促進	14
1) 関係各国及び国際機関との連携	15
2) ツーリズムEXPOジャパンの開催	16
2. 価値創造とイノベーションの追求	17
(1) 観光地域づくり推進による地域社会支援	17
1) 観光と医療の連携強化による安心・安全な観光地域づくり	17
2) ワークেশョン推進等による休暇の分散化・平準化への支援強化等を通じた新たな需要創出	17
3) DMOの機能向上に向けた新たな連携とプログラム開発及び普及	17
4) 観光サービスの質向上に向けたガイドサービスの支援	18
(2) 観光DXのための基盤整備	19
1) 最新のマーケティングデータを活用した観光予報プラットフォームの運営・活用	19
2) 全国観光情報の整備及び国内観光ポータルサイト「全国観るなび」の運営・活用	20
3) 全国観光情報データベースの整備	20
4) 地域観光情報の流通網の拡大（季節情報の収集・提供事業連携）	20
5) 観光DX推進に向けたマッチング機会の創出	21
(3) 観光専門機関としての機能強化	21
1) 観光資料のデジタルアーカイブの整備	21
2) 学会等専門機関との連携強化	21
3) 各種調査研究事業の実施	22

3. 持続的成長（SDGs）に向けた課題への取組	23
(1) SDGsに即した観光のあり方の追求	23
1) 観光SDGs推進会議（仮称）等による活動	23
2) 関係機関と連携した先進的事例の調査及び啓発活動	23
(2) 観光危機管理の推進によるレジリエンス向上	23
1) 観光危機管理・事業継続力強化研究会による地域及び事業者への対応力強化に向けた支援	23
2) 自然災害等に対する観光地域への積極的支援	24
(3) 観光教育の普及と観光人材の育成	24
1) 小中学生を対象とした観光教育普及促進	25
2) 日本観光振興アカデミー・人材育成事業	25
3) 世界の観光地や国内先行事例から地域課題への対応などを学ぶセミナー	27
4) 観光マネジメント人材の育成	28
4. 協会職員の働きがい創出に向けた取組	29
5. 組織活動事業	30
(1) 組織活動事業	30
1) 諸会議の開催	30
2) 各種委員会の開催	31
3) 行催事への後援・協賛等	33
4) 観光関係団体との連携、協議等	35
(2) 総務事項	36
1) 役員を選任	36
2) 功労者表彰	38
6. 支部事業	39
■ 全国広域観光振興事業（再掲）	62

---

# 1. 基幹産業としての観光への取組

---

## (1) 観光産業発展に向けた政策活動

我が国の観光振興に関する中枢機関としての役割を果たし、観光先進国の実現を図るために必要な事業について、関係省庁に対して、観光施策、予算に盛り込むべき事項を提案した。また、諸団体との連携・協議の下、国内旅行需要促進について検討を行ったほか、観光立国推進協議会等の活動を強化し、重点方針における観光を通じた、地域における社会課題への貢献を目指したほか、地域や産業との連携をさらに深め、観光におけるデジタル化による観光産業における生産性向上を促進した。

### 1) 観光施策（予算等）に向けた提言及び省庁・諸団体との連携・協議による旅行需要促進

#### ① 政策提言事業（一般事業）

我が国の観光振興に関する中枢機関としての役割を果たし、観光先進国の実現を図るために必要な事業や、新型コロナウイルス感染症に関する対策について、当協会から政府等に対する提案や要望を行った。

- ・令和4年5月12日「水際対策緩和に関する要望書」（斉藤鉄夫国土交通大臣宛）

#### ② 観光立国推進協議会（日本財団基金事業）

地方自治体、観光関連産業、製造、文化及び金融等の幅広い産業の団体・企業によって構成される「観光立国推進協議会」の活動を強化し、働き方改革による観光需要の創造に対する調査、研究など観光先進国の実現を図るべく必要な協議を行うため、観光立国推進協議会を開催した。

- ・令和4年4月25日（第8回） 於：東京プリンスホテル（昨年度延期分）
- ・令和5年1月17日（第9回） 於：東京プリンスホテル

#### <観光立国推進協議会委員（令和5年1月17日現在）>

委員長	山西 健一郎	公益社団法人日本観光振興協会会長
副委員長	田中 誠二	公益社団法人京都市観光協会会長
	〃 立谷 秀清	全国市長会会長
	〃 平井 伸治	全国知事会会長
	〃 二階 俊博	一般社団法人全国旅行業協会会長
	〃 武内 紀子	一般社団法人日本経済団体連合会審議委員会副議長／観光委員長
	〃 清野 智	日本政府観光局（JNTO）理事長
	〃 村田 善郎	一般社団法人日本百貨店協会会長
	〃 森 浩生	一般社団法人日本ホテル協会会長
	〃 大西 雅之	一般社団法人日本旅館協会会長
	〃 高橋 広行	一般社団法人日本旅行業協会会長
委員	鳥井 信吾	一般財団法人アジア太平洋観光交流センター会長
	〃 下地 芳郎	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー会長
	〃 吉田 謙次	株式会社オリエンタルランド代表取締役社長兼COO
	〃 山谷 佳之	関西エアポート株式会社代表取締役社長CEO
	〃 東井 芳隆	一般財団法人関西観光本部代表理事
	〃 田川 博己	一般社団法人関東観光広域連携事業推進協議会会長
	〃 小野寺 聡	一般財団法人休暇村協会理事長
	〃 唐池 恒二	一般社団法人九州観光機構会長
	〃 松下 琢磨	九州旅客鉄道株式会社常務執行役員
	〃 陳内 裕樹	グーグル合同会社Google for Education本部長兼チーフパブリシスト
	〃 滝 久雄	株式会社ぐるなび取締役会長・創業者

委員	米田昭正	KNT-CTホールディングス株式会社代表取締役社長
〃	原田一之	京浜急行電鉄株式会社取締役会長（代表取締役）
〃	原祥隆	一般財団法人国際観光サービスセンター常務理事
〃	鈴木裕	公益社団法人国際観光施設協会会長
〃	安田眞一	一般社団法人国際観光日本レストラン協会会長
〃	後藤常康	サービス・ツーリズム産業労働組合連合会会長
〃	次原悦子	株式会社サニーサイドアップ代表取締役社長
〃	亀ヶ谷好彦	ジオテクノロジー株式会社メタバースBUエンタープライズセールスマネージャー
〃	山北栄二郎	株式会社JTB代表取締役社長執行役員
〃	西牧世博	四国旅客鉄道株式会社代表取締役社長
〃	福田金也	ジャパニーズ・イン・グループ会長
〃	新津研一	一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会代表理事
〃	林悦男	一般社団法人宿泊施設関連協会会長
〃	後藤高志	株式会社西武ホールディングス代表取締役社長
〃	細田眞	全国観光土産品連盟会長
〃	横田信秋	一般社団法人全国空港事業者協会会長
〃	森義久	全国商工会連合会会長
〃	荒木泰臣	全国町村会会長
〃	青木貴晴	一般社団法人全国農協観光協会代表理事専務
〃	川鍋一朗	一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会会長
〃	多田計介	全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会会長
〃	岩崎貞二	一般社団法人全国レンタカー協会会長
〃	井上慎一	全日本空輸株式会社代表取締役社長
〃	清水嗣能	一般社団法人 全日本ホテル連盟会長
〃	宮川潤一	ソフトバンク株式会社代表取締役社長執行役員兼CEO
〃	椎川忍	一般財団法人地域活性化センター理事長
〃	寺西達弥	一般財団法人地域伝統芸能活用センター理事長
〃	荻野光貴	一般社団法人中央日本総合観光機構常務理事兼事務局長
〃	犬塚力	中部国際空港株式会社代表取締役社長
〃	大塚洋	定期航空協会理事長
〃	金子慎	東海旅客鉄道株式会社代表取締役社長
〃	野本弘文	東急株式会社代表取締役会長
〃	永野毅	東京海上ホールディングス株式会社取締役会長
〃	金子眞吾	公益財団法人東京観光財団理事長
〃	土井勝二	東京国際空港ターミナル株式会社代表取締役社長
〃	田川博己	東京商工会議所副会頭（観光委員会委員長）
〃	安富正文	東京地下鉄株式会社 顧問
〃	根津嘉澄	東武鉄道株式会社取締役社長
〃	百木田康二	東武トップツアーズ株式会社代表取締役社長執行役員
〃	紺野純一	一般社団法人東北観光推進機構理事長
〃	サラ・マシューズ	トリップアドバイザー株式会社APAC地域メディア・パートナーシップディレクター
〃	小室俊二	中日本高速道路株式会社代表取締役社長
〃	田村明比古	成田国際空港株式会社代表取締役社長
〃	前川秀和	西日本高速道路株式会社代表取締役社長
〃	来島達夫	西日本旅客鉄道株式会社顧問
〃	藤原徳久	ニッポンレンタカーサービス株式会社代表取締役社長執行役員
〃	田川博己	一般社団法人日本エコツーリズム協会会長
〃	明瀬一裕	一般社団法人日本オートキャンプ協会会長
〃	笹本森雄	一般社団法人日本温泉協会会長
〃	大畑貴彦	一般社団法人日本海外ツアーオペレーター協会会長
〃	遠藤弘之	一般社団法人日本外航客船協会会長

委員	伊藤 淳子	一般社団法人日本観光通訳協会会長
〃	鷹城 勲	日本空港ビルディング株式会社代表取締役会長兼CEO
〃	植木 義晴	日本航空株式会社取締役会長
〃	光山 清秀	公益財団法人日本交通公社会長
〃	滝 久雄	公益財団法人日本交通文化協会理事長
〃	崎本 武志	日本国際観光学会会長
〃	武内 紀子	一般社団法人日本コンベンション協会代表理事
〃	島 雅之	一般社団法人日本自動車連盟専務理事
〃	竹内 秀一	公益財団法人日本修学旅行協会理事長
〃	志岐 隆史	日本商工会議所観光委員会共同委員長
〃	三橋 滋子	一般社団法人日本添乗サービス協会会長
〃	梅崎 壽	公益財団法人日本ナショナルトラスト会長
〃	清水 一郎	公益社団法人日本バス協会会長
〃	下光 輝一	NPO法人日本ヘルスツーリズム振興機構理事長
〃	石塚 勉	一般財団法人日本ホテル教育センター理事長
〃	野田 浩史	一般社団法人日本ホテルバーメンズ協会会長
〃	野本 弘文	一般社団法人日本民営鉄道協会会長
〃	天谷 直昭	一般社団法人日本旅客船協会理事長
〃	小谷野 悦光	株式会社日本旅行代表取締役社長兼執行役員
〃	立谷 光太郎	株式会社博報堂顧問
〃	塩見 清仁	株式会社はとバス代表取締役社長
〃	由木 文彦	東日本高速道路株式会社代表取締役社長
〃	富田 哲郎	東日本旅客鉄道株式会社取締役会長
〃	吉川 健一	株式会社BRICK's代表取締役社長
〃	小金澤 健司	公益社団法人北海道観光振興機構会長
〃	島田 修	北海道旅客鉄道株式会社代表取締役会長
〃	原 典之	三井住友海上火災保険株式会社取締役会長会長執行役員(代表取締役)
〃	田川 博己	一般財団法人ロングステイ財団会長

### ③ 国内観光促進委員会 (一般事業)

全国旅行支援のスタートを受け、アフターコロナのテーマとして「国内観光におけるSDGs」について取り組みの共有を図り、課題解決に向けた議論を行った。

第1回：令和4年8月25日（木）15:00～17:00（於：公益社団法人日本観光振興協会会議室）  
・SDGs取組事例共有

第2回：令和5年3月22日（水）15:00～17:00（於：公益社団法人日本観光振興協会会議室）  
・SDGs学習プログラム視察報告（岡山県備前市）  
・全国旅行支援後における現状と課題

### 2) デジタル化による生産性向上の促進 (一般事業・日本財団基金事業)

観光に関連する学会等と連携した研究会を設置し、開発が進められている新たな技術を利用する地域側の関係者等へのヒアリングを行い、それらの技術を地域観光へ活用する方策について検討を行った。

- ・研究会の開催：令和4年10月21日（金）
- ・ヒアリングの実施：令和4年11月28日（月）雪国観光圏代表理事 井口智裕 氏  
令和5年3月30日（木）有限会社オズ代表取締役 江崎貴久 氏

## (2) 観光産業のプラットフォームとしてネットワークを活用した観光立国の実現

当協会が掲げる理念を追求し目標を達成するため、地方自治体や観光関連産業など幅広い産業の団体・企業とともに、観光に関する諸課題について意見交換及び情報交換を行う場を活用し、コロナ禍の新しい生活様式における安心・安全な観光地域づくりの支援や新たな価値創造に取り組んだほか、国際往来再開に備え、各種提言、要望等の活動を行った。その他、観光業界としての広報機能を拡充し、観光振興に関する情報や知見などを幅広く共有するための体制を整えた。

### 1) 国際往来再開を見据えたウィズコロナ・アフターコロナの観光立国推進

(日本財団基金事業・一般事業)

国際往来再開を見据え、観光立国推進協議会・国内観光促進委員会・双方向交流促進委員会などの諸会議や政策提言活動などによる情報発信を通じて、他団体と事業連携を行い、国際往来再開を見据えたウィズコロナ・アフターコロナに向けた観光立国推進を図った。

また、政府機関等からの新型コロナウイルス感染症に関する情報提供をメールマガジン・ホームページ等で実施し、会員等と情報共有を図った。

### 2) 観光（業界）広報機能の拡充

#### ① 広報Webサイト及びメールマガジン等による広報（一般事業）

当協会のWebサイト (<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/>) にて、当協会事業の実施状況の発信を行うとともに、会員専用ページにて、観光に関する各種統計データの提供を行った。また、会員メールマガジンにて、当協会及び会員の実施する事業や国の観光政策等の情報を発信した。

#### ② 季刊「観光とまちづくり」の発行（日本宝くじ協会助成事業）

観光情報誌「観光とまちづくり」は、都道府県、都道府県観光協会・連盟、市町村等をはじめ、観光まちづくりに取り組む事業者やNPO、地域住民、研究者、学識経験者、マスコミ関係者、そして観光に関心を持つ一般の消費者等に対して、各地域における先進的取組や観光魅力の創出事例の紹介等を行い、地域の観光振興を支援した。

各号では、観光をめぐる最新の情報を提供するとともに、読者に関心の高いテーマを特集し、その分野の専門家や実務家とともに、実例をあげながら問題解決の方向を探った。

<令和4年度の特集一覧と発行>

春号 「カーボンニュートラルに挑む観光業界／コロナ禍の新発想」 (令和4年4月28日発行)

夏号 「観光の復活／沖縄復帰50年 沖縄観光のあゆみ」 (令和4年7月29日発行)

秋号 「Z世代に向けた観光発信／鉄道開業150周年記念 地域を元気にする鉄道の観光活用」

(令和4年10月31日発行)

冬号 「インバウンドの再開と観光のこれから」 (令和5年1月31日発行)

#### ③ 観光地づくり美化プランター配布事業（日本宝くじ協会助成事業）

観光地の環境美化活動の推進を目的として、花を用いて景観を整備する「花の観光地づくり」を支援している。本年度は花による地域の観光振興を目指す市町村や団体等のうち各支部から推薦を受けた全国14地域に耐久性の高いプランター65基を贈呈し、「花の観光地づくり」を支援した。

## (3) ニューノーマル時代における新たな観光魅力の創造

地域固有の資源・文化を活かし、地域を持続的に発展させるサステナブルツーリズムの理念の下、ニューノーマル時代における地域資源を多様な視点で捉えた新たな観光魅力の創造としてテーマ別による観光（産業観光、酒蔵ツーリズム、海を活用した観光等）を促進したほか、広域的に組織や観光資源の連携を活かした広域観光を推進した。



## 1) テーマ別観光の推進

### ① 産業観光

#### ●全国産業観光フォーラムの開催（全国広域観光振興事業）

令和3年度に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により延期した第21回全国産業観光フォーラムを以下のとおり開催した。

名称：第21回全国産業観光フォーラム

開催日：令和4年6月27日（月）、28日（火）

開催地：神奈川県小田原市

主催：一般社団法人小田原市観光協会、公益社団法人日本観光振興協会、  
全国産業観光推進協議会

テーマ：なりわい文化とまち歩き観光

なお、令和4年度に開催予定であった、北九州市での第22回全国産業観光フォーラムについては、北九州市の要望により令和5年度に実施する。そのため、令和4年度においては、新たな開催地（第23回全国産業観光フォーラム）の募集は実施しなかった。

#### ●産業観光まちづくり大賞（第15回）の実施（全国広域観光振興事業）

産業観光を通じたまちづくりに寄与した地域を顕彰した。

主催：全国産業観光推進協議会、公益社団法人日本観光振興協会

後援：経済産業省、観光庁

募集期間：令和4年6月8日（水）～7月29日（金）

選考：事務局・審査委員事前審査及び審査委員会の開催・決定

審査委員会：令和4年8月25日（木）開催

審査委員：

委員長 福川 伸次（東洋大学総長）

副委員長 望月 照彦（多摩大学名誉教授）

委員 楓 千里（國學院大学教授）

〃 須田 寛（全国産業観光推進協議会会長・東海旅客鉄道株式会社顧問）

〃 丁野 朗（全国産業観光推進協議会副会長）

〃 富田 建蔵（観光庁観光地域振興部観光資源課長）

〃 俣野 敏道（経済産業省商務・サービスグループクールジャパン政策課長）

〃 政所 利子（株式会社 玄 代表取締役）

〃 光山 清秀（公益財団法人日本交通公社会長）

〃 鷲尾 裕子（松蔭学園松蔭大学客員教授）

〃 久保田 穰（公益社団法人日本観光振興協会理事長）

受賞団体：

【金賞】NPO法人ORGAN（岐阜県）

【経済産業大臣賞】公益社団法人やまなし観光推進機構（山梨県）

【観光庁長官賞】横須賀市（神奈川県）

【銀賞】越前海岸盛り上げ隊（福井県）

【特別賞】一般社団法人備前観光協会・一般社団法人みんなでびぜん（岡山県）

表彰式：ツーリズム EXPO ジャパン 2022 会場（9月23日）にて実施した。

#### ●Web サイト「全国観るなび 産業観光ガイド」による情報の発信（全国広域観光振興事業）

全国観るなび内に、産業観光のページを設け、各種情報の発信を行った。

●令和4年全国産業観光推進協議会（産業観光推進事業）

書面にて総会を開催した。

- 議 題：第1号議案 全国産業観光推進協議会役員・委員の就任について  
 第2号議案 令和3年度（2021年度）事業報告及び収支決算について  
 第3号議案 令和4年度（2022年度）事業計画及び収支予算について
- 役員・委員：会 長 須田 寛 東海旅客鉄道株式会社顧問  
 副 会 長 池田 安隆 富山商工会議所観光・コンベンション委員長  
 とやま産業観光推進協議会副会長  
 株式会社池田屋安兵衛商店代表取締役社長  
 丁野 朗 公益社団法人日本観光振興協会調査研究所顧問  
 藤本 隆宏 早稲田大学 大学院経営管理研究科（ビジネススクール）教授  
 一般社団法人ものづくり改善ネットワーク代表理事  
 宮橋 勝栄 小松市長  
 久保田 穰 公益社団法人日本観光振興協会理事長  
 特別顧問 福川 伸次 東洋大学総長  
 望月 照彦 構想博物館キュレーター／多摩大学名誉教授  
 委 員 武田 光弘 愛知県観光コンベンション局長  
 生駒 健二 株式会社イクシー代表取締役社長  
 エイベックス株式会社執行委員  
 桑名市産業観光まちづくり協議会事務局  
 蔵持 京治 日本政府観光局理事  
 グライント ホルト  
 一般社団法人日本海外ツアーオペレーター協会理事  
 THE J TEAM 株式会社（DMC）代表取締役  
 古賀 方子 全国街道交流会議専務理事・プロデューサー  
 高野 満博 公益財団法人日本修学旅行協会事務局長  
 宮澤 伸 日本商工会議所地域振興部長  
 山田 立 株式会社玉川堂番頭／株式会社つくる代表取締役  
 燕三条工場の祭典実行委員長  
 鈴木 昭久 公益社団法人日本観光振興協会副理事長  
 （幹事） 皆見 薫 公益社団法人日本観光振興協会常務理事  
 西村 哲治 公益社団法人日本観光振興協会中部支部事務局長
- オブザーバー 経済産業省  
 観光庁  
 独立行政法人日本貿易振興機構  
 公益社団法人日本印刷技術協会  
 プラチナ構想ネットワーク  
 ジオテクノロジー株式会社  
 株式会社 JTB  
 株式会社日本旅行  
 三重交通株式会社観光販売システムズ営業部

（順不同・敬称略、令和4年4月1日現在）

●産業観光ワークショップ等の地域支援実施（産業観光推進事業（地域支援・受託・補助事業））

以下の地域において産業観光による取組支援を行った。

- ・石川県小松市 令和4年度産業観光コンサルティング業務  
地域のマネジメント組織・人材育成、燕三条「工場の祭典」視察  
オープンファクトリー「GEMBAモノヅクリエクスポ」開催
- ・国内外のMICE・伝統工芸・物産関連・富裕層向け旅行博等への出展の検討  
国際酒類専門見本市「Imbibe Live 2022」出展・関連視察  
ITB Berlin2023 出展・関連視察

●公益財団法人日本修学旅行協会との連携事業（産業観光推進事業）

日本修学旅行協会機関紙「教育旅行」において産業観光に関する記事を掲載した。

② 酒蔵ツーリズム（一般事業）

- ・Webサイト「全国観るなび」（JAPAN 47 GO）及びfacebook・TwitterなどSNSによる情報発信  
酒蔵ツーリズムサイトを用いて、情報・事例提供等を行った。また、酒造関係事業者や当協会  
会員、日本酒蔵ツーリズム推進協議会会員との連携・ネットワークの強化を図った。
- ・「令和4年度日本酒蔵ツーリズム推進協議会 総会」  
日時：令和4年6月15日（水）（於：日本酒造組合中央会 会議室）

③ 体験ツーリズム（日本財団基金事業）

文化庁による日本遺産事業は、各地に点在する貴重な文化財を点での保護から物語化による活用促進に向けた取組が行われており、平成27年度の事業開始以降、現在104箇所の物語が認定され、その活用推進に向けた取組が行われている。一方で文化庁の調査によれば、日本遺産に対する一般の認知度がまだまだ低いことも示唆されており、文化財を含む物語の観光コンテンツ化とともに認知拡大に向けた取組も同時に図られる必要がある。

本事業においては、熊本県八代市と神奈川県鎌倉市・東京都八王子市をモデル地域として、日本遺産（文化財）を観光コンテンツとして活用し、物語（ストーリー）に沿って効率良く周遊できる仕組み・モデルルート案を構築した。なお本事業は2か年事業とし、熊本県八代市においては、令和4年度は2年目であり、神奈川県鎌倉市・東京都八王子市は1年目である。

<熊本県八代市>

・有識者会議の開催

モデル地域で有識者会議を開催し、八代日本遺産を周遊するためのモデルルートを策定し、情報発信に向けた制作物等の検討を行った。

第1回

日 時：令和4年5月26日（木）13：30～15：30

場 所：お祭りでんでん館（熊本県八代市）

テーマ：令和4年度事業説明、モデルルート・制作物に関する意見交換、交通事業者と連携した商品、特典、周知に関する意見交換

第2回

日 時：令和4年9月8日（木）13：30～15：30

場 所：お祭りでんでん館（熊本県八代市）

テーマ：モデルルートの共有、制作物に関する意見交換、情報発信・プレスリリースについて

第3回

日 時：令和5年2月10日（金）10：00～12：00

場 所：お祭りでんでん館（熊本県八代市）

テーマ：モニターツアー実施報告、制作物報告、記者会見・プレスリリースの発信について、次年度以降の自走化について

- ・モデルルートの策定
 

有識者会議において、テーマ性を持った4つのモデルルートを策定した。

  - ① 石工が作り上げた絶景スポットを巡る王道コース「イシク・ロード」
  - ② 日本遺産を見ながら健康！石橋ヘルスツーリズムコース
  - ③ 八代のイシクの歴史を学ぶ「日本遺産・八代歴史」探求コース
  - ④ 「干拓遺跡」と「めがね橋」を築いた石工の軌跡を辿る八代満喫コース
- ・八代日本遺産、モデルルートを周知、周遊のための制作物
 

八代日本遺産を周知、周遊するために、各種制作物（「日本遺産わくわく周遊パス」、チラシ、ホームページ等）を制作した。
- ・モニターツアーの実施
  - ① 一般観光客向け
 

日 時：令和4年11月19日（土）～11月20日（日）

対 象：熊本県、福岡県、鹿児島県にお住まいの方（計14名）
  - ② メディア向け
 

日 時：令和4年12月1日（木）～12月2日（金）

メディア：河内研究所（肥後ジャーナル）、インスタグラマー 竜、熊日新聞広告社(すばいす) 西日本新聞社（ぐらんざ）、日本航空（On Trip JAL）、熊本県観光連盟（くまもとLOOK）、KASSE JAPAN、ANTA熊本支部、JTB熊本支店
- ・特典等付加価値サービス提供開発
 

「八代日本遺産わくわく周遊パス」を提示することで特典を受けることができる特典等付加サービスを八代市観光・クルーズ振興課とともに開発した。
- ・記者会見、プレスリリースの発信
 

日 時：令和5年2月20日（月）10時40分

場 所：八代市役所内

#### <神奈川県鎌倉市>

- ・有識者検討会議の開催
 

モデル地域において各分野における有識者を招聘し、有識者検討会議を開催した。鎌倉市内に点在する日本遺産を効率的に周遊でき、また現在課題として抱えている観光客の分散化を図るためのモデルルート素案を策定した。鎌倉日本遺産の認知度向上を図るための効果的な情報発信の手法についても検討を行った。

第1回

日 時：令和4年12月13日（火）14：00分～16：00

場 所：鎌倉商工会議所（神奈川県鎌倉市）

テーマ：事業概要の説明

第2回

日 時：令和5年2月24日（金）10：00～12：00

場 所：鎌倉商工会議所

テーマ：令和4年度事業報告、モデルルート素案策定に関する意見交換、令和5年度事業計画
- ・公共交通機関の活用により周遊モデルルート整備及び活用促進
 

公共交通機関を活用した文化財、関連施設の周遊を促す仕組みの開発として、モデルルートの素案を策定した。また公共交通機関と連携し、効率的に周遊できる仕組みを検討した。
- ・周辺地域の観光案内と特典付与・商品化の検討
 

アプリや既存ホームページ等の活用による特典等付加サービスの検討を行った。また、商品化を目指し、利便性の向上についても検討を行った。アプリ開発、特典付加サービスの開発は次年度事業として実施予定である。

#### <東京都八王子市>

- ・有識者検討会議の開催
 

各分野の有識者を招聘して有識者検討会議を開催し、八王子市に点在する日本遺産の構成文化財を来訪目的とするコンテンツに磨き上げ、公共交通機関を利用して周遊できる仕組みを提供す

ることで、新たな観光客の獲得、観光客の回遊性と滞在時間の延長を促し、八王子市の課題である高尾山の一極集中の緩和と地域全体での観光消費の拡大を目指していく。

#### 第1回

日 時：令和5年1月12日（木）14：00～16：00

場 所：八王子駅南口総合事務所 会議室

テーマ：事業説明、日本遺産「桑都物語」推進協議会としての本事業取組趣旨説明、意見交換

#### 第2回

日 時：令和5年2月21日（火）14：00～16：00

場 所：東京たま未来メッセ 3階 第7会議室

テーマ：令和4年度事業報告、モデルルート素案策定に関する意見交換、令和5年度事業計画

#### ・公共交通機関の活用による周遊モデルルートの策定及び周遊パス作成検討

公共交通機関を活用した文化財、関連施設の周遊を促す仕組みの開発として、モデルルート素案を策定した。また公共交通機関事業者と連携し、効率的に周遊できる仕組みと周遊パスについて検討した。

#### ・情報発信媒体の制作と仕組み作り、自走化に向けた取り組み

ホームページ・アプリの制作、SNSによる情報発信、交通事業者と連携した周遊パスの仕組みの開発、飲食店等の特典クーポンの開発について検討を実施した。令和5年度事業で仕組みを作り、令和6年度以降も自走化できる体制を整えるため、有識者や地域観光事業者の連携強化を図る。

#### ④ 地域ブランド開発推進事業（日本財団基金事業・一般事業）

全国各地域には、豊富で多様な観光資源が多数存在しており、各地域において、これらの観光資源を活用した取組がなされている。こうした地域資源を発掘し、磨き上げるとともに、国内外から選ばれる国際競争力の高い、魅力ある観光地域づくりを促進するために、地域のブランディング開発を行った。文化庁、国税庁、農林水産省等関係省庁との連携等を推進し、調査により地域の現状を把握するとともに、地域における食や文化遺産等を活用した体験型の観光メニューの造成、開発を行った。また、これらのコンテンツを国内外のイベントの場において発信した。

##### 《酒蔵ツーリズム事業》

#### ・「令和4年度酒蔵ツーリズムセミナー」の開催（日本財団基金事業）

日 時：令和4年9月23日（金・祝） 16:30～18:00

会 場：ツーリズム EXPO ジャパン会場（東京ビックサイト）

主 催：日本酒蔵ツーリズム推進協議会

テーマ：「プロフェッショナルセミナー」（佐々木酒造・球磨焼酎ツーリズム協議会の事例紹介）

参加人数：約80名

#### ・「令和4年度酒蔵ツーリズムセミナー」の開催（日本財団基金事業）

日 時：令和5年2月28日（火）14：00～17：00

会 場：酒造組合虎ノ門ビル会議室

主 催：日本酒蔵ツーリズム推進協議会

テーマ：「発酵文化としての酒蔵ツーリズム」

#### ・酒蔵ツーリズム海外（台湾／ITF 台湾旅行博、イギリス／imbibe 酒類展示会、ドイツ／ITB ベルリン国際旅行博）事業（日本財団基金事業・一般事業）

台湾を訪日旅行の重要ターゲットとして位置付け、酒蔵ツーリズムの調査やプロモーションを実施。ITB ベルリン国際旅行博では海外のエージェントとのビジネスマッチングや需要の調査を行った。

##### 《農泊事業》（日本財団基金事業）

備前の里海・里山を対象、SDGs をテーマとして、9月にツーリズム EXPO ジャパンに出展、11月にFAM ツアーを催行した。

### ⑤ 万葉歌碑事業 (日本財団基金事業)

昨年度、万葉歌碑を通して万葉集の魅力を広く国内外に発信するとともに、万葉のふるさと高岡の地域ブランドの向上と観光振興及び地域の活性化を図るため、高岡市をモデル地域と選定し協議会を立ち上げ、一部翻訳作業、歌碑設置計画とホームページデザインの策定を行った。令和3年度からの継続事業として、歌碑の多言語解説板の設置や多言語マップの作成等を実施した。

### ⑥ 海事観光の総合的プロモーション事業 (日本財団基金事業)

大自然の風景や体験型観光等魅力ある観光要素を有する「海事観光」は、地域の新しい観光コンテンツとして大きく発展する可能性を秘めていることから、プロモーション動画の制作・配信、旅行博への出展等の広報活動を継続することにより、「海事観光」のトレンドを形成し、旅行者の需要喚起を図っている。

特に令和4年度は、エリア別・シチュエーション別の海事観光モデルコースを策定することにより、海事観光をイメージしやすかつ実際に現地へ出かけてみたくなるような工夫を行った。また、国連が定める「持続可能な開発目標 (SDGs)」における目標 14「海の豊かさを守ろう」を意識し、限りある海の資源に配慮しながら持続可能な海事観光に向けて各種事業に取り組んだ。

### ⑦ 地方を拠点とするクルーズ促進モデル事業 (日本財団基金事業)

クルーズ船の寄港増加に伴い、訪問客により長く滞在してもらう取組の一つとして、フライ&クルーズ (※) に注目し、地方発着のクルーズ推進により地域の消費拡大に向けたモデル化を目指すことを目的として事業を実施しているが、令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大のため、クルーズ船の運航が世界的に難しい状況となっていることを踏まえ、実施を見合わせていたが、令和4年11月15日に国際クルーズの受入れが再開したことから、次年度に各種事業(シンポジウムやファムツアー)を実施するため、国土交通省や船会社、モデル地区の宮古島などと各種調整を行った。

(※) フライ&クルーズ:クルーズ発着港まで飛行機で行き、乗船してクルーズ旅行を楽しむこと。

## 2) 広域観光の促進 (全国広域観光振興事業)

### ① 第9回世界遺産サミットの開催

群馬県富岡市で実施された「世界遺産サミット in 富岡製糸場」に共催した。

- ・会 期：令和4年10月29日 (土)、30日 (日)
- ・会 場：富岡市 富岡製糸工場
- ・主 催：一般社団法人世界文化遺産地域連絡会議
- ・共 催：観光庁、公益社団法人日本観光振興協会

### ② 北前船寄港地フォーラムの開催

北前船寄港地フォーラムの開催に参画し、役職員の派遣等を通じ開催を支援した。

- ・第31回北前船寄港地フォーラム (フランス・パリ)  
令和4年10月17日 (月)～20日 (木) (※諸事情により、役職員の派遣なし、広報等のみ実施)
- ・第32回北前船寄港地フォーラム (沖縄県)  
令和5年2月2日 (木)～4日 (土)

## (4) 国際交流 (双方向交流) の促進

ITF2022における日本ゾーンの運営や日台観光サミットの開催を通じて、諸地域との交流を通じて双方向交流の拡大を図ったほか、世界の観光機関であるUNWTO (The World Tourism Organization of the United Nations・国連世界観光機関)、WTTC (World Travel & Tourism Council・世界旅行ツーリズム協議会) 等との事業協力や共同研究を進めるなど、日本のツーリズムを世界に発信した。

また、世界最大のトラベル・ツーリズム・トレードフェアを目指しツーリズムEXPOジャパンの充実にも取り組んだ。

## 1) 関係各国及び国際機関との連携

### ① 台北国際旅行博（ITF2022）関連事業（一般事業・全国広域観光振興事業）

台湾・台北市で開催された「台北国際旅行博」の日本ゾーン出展取りまとめや運営を行ったほか、3年ぶりとなる商談会を主催・運営した。

<展示会>

- ・会 期：令和4年11月4日(金)～11月7日(月)
- ・会 場：台湾台北市 南港展覽館
- ・主 催：財団法人台湾観光協会
- ・出展団体：日本ゾーン55団体（96小間）
- ・来場者数：19.5万人（前年比172%）

<商談会>

- ・日 時：令和4年11月3日（木）
- ・会 場：台湾台北市 富邦国際会議場
- ・主 催：公益社団法人日本観光振興協会
- ・参加団体：日本側24団体、台湾側114団体

### ② 日台観光サミットの開催（全国広域観光振興事業）

「ポストコロナ時代における日台観光産業復興に向けて」をテーマに台湾桃園市にて3年ぶりに開催した。

- ・会 期：令和4年9月1日（木）～4日（日）
- ・会 場：台湾桃園市
- ・主 催：日台観光推進協議会/台日観光推進協議会
- ・参加者数：日本側49名、台湾側86名

### ③ 双方向交流促進委員会（一般事業）

ウィズコロナ・アフターコロナに向けたインバウンド・アウトバウンドのあり方と、その促進に関する議論を行った。

- ・第1回：令和4年6月10日（金） 10：00～12：00（於：日本観光振興協会会議室）
- ・第2回：令和5年3月20日（月） 15：30～17：00（於：日本観光振興協会会議室）

### ④ UNWTOとの連携事業（一般事業・日本財団基金事業）

令和4年12月12日(月)～15日(木)に奈良県で開催されたUNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラム第7回大会を支援するとともに、地域との連携を図りながら同ツーリズムの推進と普及に取り組んだ。

### ⑤ WTTC開催事業（一般事業・拠出金事業）

WTTC（世界旅行ツーリズム協議会）のグローバルサミットに関係企業・団体等と参加し、記者会見等を通じて、日本の観光に関する情報を世界に向けて発信した。令和4年4月にマニラ、11月にはサウジアラビアでも開催した。

●WTTC（世界旅行ツーリズム協議会）マニラ大会（令和3年度開催延期分）

- ・会 期：令和4年4月20日（水）～22日（金）
- ・主 催：WTTC
- ・参加者数：50ヶ国 1,200名
- ・テーマ：Rediscovering Travel（旅の再発見）

●WTTC（世界旅行ツーリズム協議会）サウジアラビア大会

- ・会 期：令和4年11月30日（水）～12月2日（金）
- ・主 催：WTTC
- ・参加者数：140ヶ国 3,000名
- ・テーマ：Travel for a better future（より良い未来の旅）

**2）ツーリズムEXPOジャパンの開催（一般事業・全国広域観光振興事業）**

海外旅行・訪日旅行及び国内旅行の振興に向け、「新しい時代へのチャレンジ～ReStart」をテーマに日本旅行業協会、日本政府観光局と共催で「ツーリズムEXPOジャパン2022」を開催した他、「ツーリズムEXPOジャパン2023」の開催に向けた出展及び協賛団体獲得に向けた営業活動を実施した。

- ・会 期：令和4年9月22日（木）～25日（日）
- ・会 場：東京ビッグサイト
- ・共 催：日本観光振興協会/日本旅行業協会/日本政府観光局
- ・参加数：世界78か国と地域（1,018の企業・団体）
- ・来場者数：124,074人



---

## 2. 価値創造とイノベーションの追求

---

### (1) 観光地域づくり推進による地域社会支援

安心・安全な観光地域づくりを推進するため、医療関係者との連携を強化し、地域と医療関係者との橋渡しの役割を担うための取組を行うとともに、ライフスタイル、働き方の多様化により交流人口や関係人口、ひいては定住人口の拡大となるよう、ワーケーション等の新しい観光に取り組んだ。また、魅力ある観光地域づくり推進のために、地域と連携したモデル事業やDMOの現状と課題抽出を目的としたDMO実態調査を実施するほか、DMOの機能向上を目指す為のプログラム開発に取り組んだ。その他、高付加価値な観光体験を実現するため、観光ガイドサービスの支援等を行った。

#### 1) 観光と医療の連携強化による安心・安全な観光地域づくり (一般事業)

コロナ禍を経て「安心と安全」を日本の新しい観光ブランドとして構築するために適切な考え方や対策を議論する場として、「コロナ禍における新たな日本の観光ブランド構築タスクフォース」会議を開催する予定だったが、コロナ禍が収束に向かいつつあることから国内観光促進委員会での情報交換に切り替えた。

#### 2) ワーケーション推進等による休暇の分散化・平準化への支援強化等を通じた新たな需要創出(日本財団基金事業)

ワーケーション等を通じ、新しい働き方と観光需要の創造を目指すためワーケーション自治体協議会(WAJ)、総務省が主催する「ワーケーション・コレクティブインパクト(WCI)」を一般社団法人日本経済団体連合会及び一般社団法人日本テレワーク協会とともに共催した。また、本事業の開催に先立ち、同事業の概要等に関する説明会を開催した。

- ・説明会 令和4年9月29日
- ・WCI開催地域
  - 北海道 令和4年10月18日～21日
  - 長野県 令和4年11月6日～9日、11月9日～12日
  - 福井県 令和4年12月1日～3日
  - 和歌山県 令和4年11月21日～23日
  - 鳥取県 令和4年11月16日～18日
  - 宮崎県日向市 令和4年11月15日～18日

#### 3) DMOの機能向上に向けた新たな連携とプログラム開発及び普及

##### ① DMOの推進事業 (一般事業・日本財団基金事業・全国広域観光振興事業)

株式会社おおすみ観光未来会議をモデル団体として、米国のDMOの業界団体であるDestinations International(DI)が推奨する観光地域診断ツールを用いて観光地の現状を評価することで、地域におけるゴールとそれに向かう施策策定の一助とするとともに、その進捗等を「DMOなび」で公開する等して情報共有を図った。また、国内DMO支援に役立つその他の手法やツール等についての情報をDIやその他海外DMO等から収集した。

・株式会社おおすみ観光未来会議

実施地域	鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町
実施時期・参加者・形式等	
1. ライブアンケート (ワークショップ1)	令和4年12月8日(鹿屋市) 会場参加17名、オンライン参加等5名、別途、URLによるアンケート回収177名
2. 報告会 (ワークショップ2)	令和5年2月21日(鹿屋市) 会場20名

※カナダの調査会社と会場事務局をインターネット回線で接続してオンライン形式（Zoomミーティング）でアンケート調査を実施。なお、報告会については、カナダの調査会社が来日し、世界の先進的なケーススタディや観光トレンドを講演した。

② DMOネット保守管理事業

全国の日本版DMOが各観光地の一体的なブランド形成等戦略的な観光地域づくりを強力に推進するための基盤として平成28年度からスタートしたDMOネットは、令和2年6月末をもって終了した。その後、DMO間の情報共有に機能を絞り込んだDMOネットを令和2年8月より再スタートし、観光庁からの受託業務として、当協会は令和4年度も引き続き事務局業務を担い、データの維持管理やシステムの安定した運用に努めた。

4) 観光サービスの質向上に向けたガイドサービスの支援

① まちあるきガイド連絡協議会代表者会議（日本財団基金事業）

地域の魅力を発掘・紹介することにより観光地域づくりに寄与するガイドの活動に関わる支援事業の一環として、表題の会議を実施した。

各都道府県のガイド団体連絡協議会代表者の方々を対象に、国内外の需要回復期等を踏まえたガイドの活動に係る諸問題や話題について情報や事例を共有し、今後の活動のあり方などについて意見交換を行う場として開催した。なお、会議名称は当初の「都道府県観光ボランティアガイド連絡協議会代表者会議」から「まちあるきガイド連絡協議会代表者会議」に改称して実施した。

日 時：令和5年2月21日（火）

形 式：オンライン（Zoomミーティング）

参加者：都道府県ガイド団体連絡協議会（メイン参加者）

都道府県、都道府県観光協会/観光連盟、その他（オブザーバー）

② 滞在型コンテンツによる観光需要創出事業（日本財団基金事業）

新型コロナウイルスにより大きな影響を受けた通訳案内士を対象とした研修や、ツーリズムEXPOジャパンにおける商談会、ガイド紹介の動画放映などの事業を実施することにより、質の高いガイドの育成と質の高いサービスの利用促進を図った。

- ・通訳案内士によるツーリズムEXPOジャパン2022場内ツアーの実施

日 時：令和4年9月22日(木)～25日(日)

会 場：ツーリズムEXPOジャパン2022会場内（東京都江東区・東京ビッグサイト）

参加者数：100名

- ・通訳案内士セミナーの開催

日 時：令和4年12月6日(火) 14:00～17:00（オンライン）

参加者数：200名

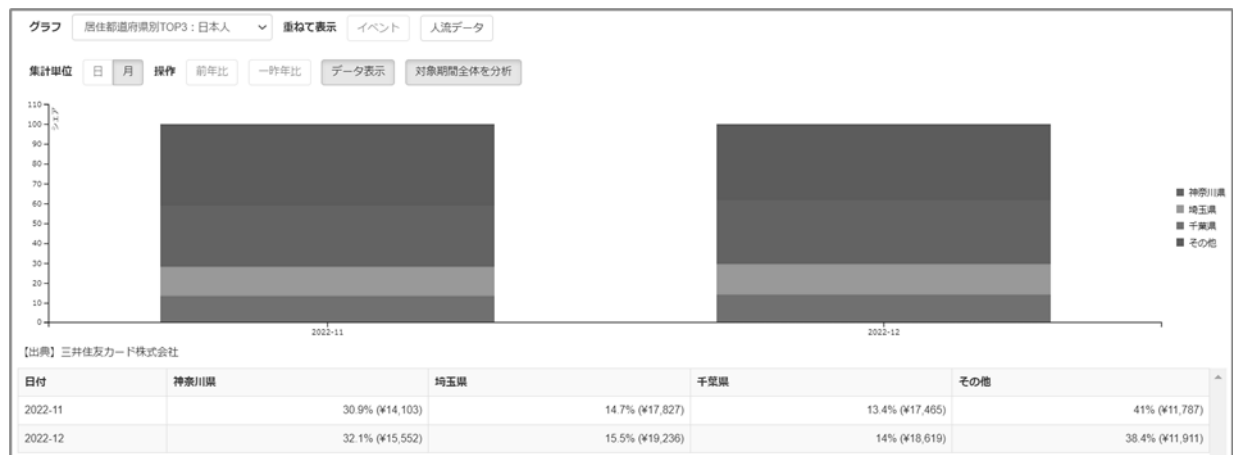
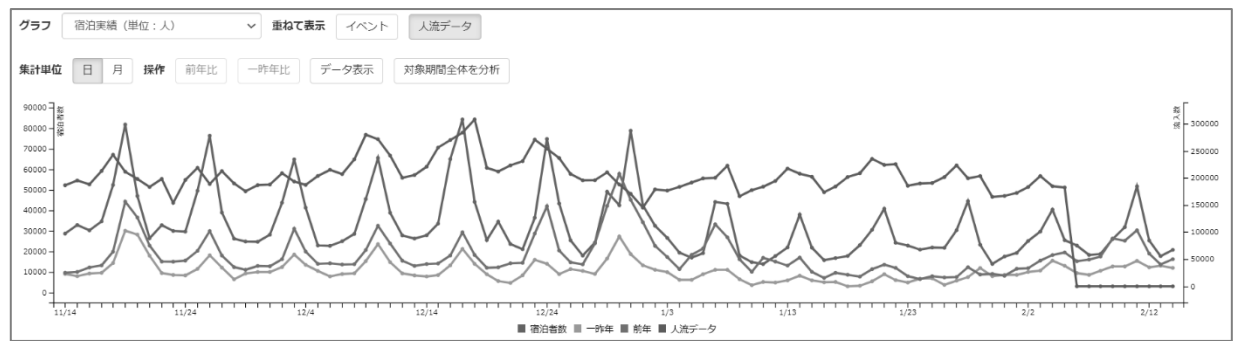
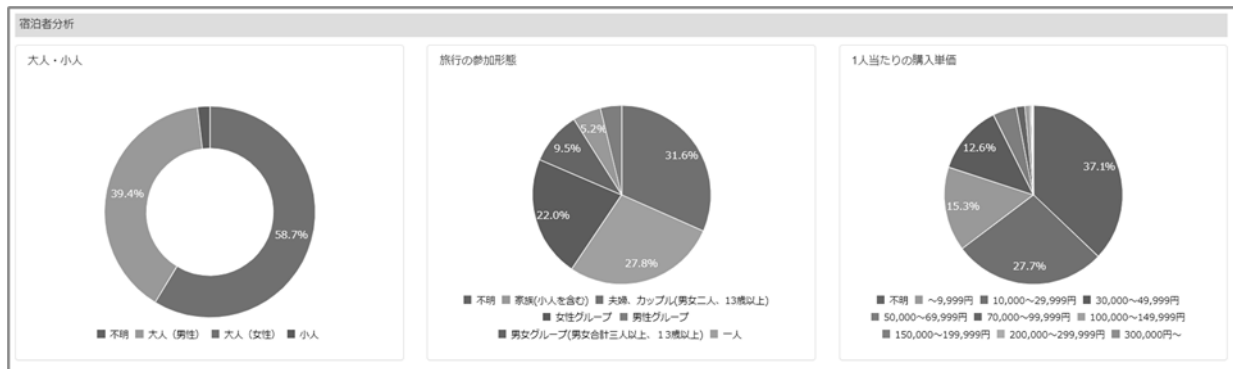
## (2) 観光DXのための基盤整備

観光産業の生産性向上の支援として、観光DX推進のための基盤整備を行った。国内外旅行者の宿泊予約・実績データや宿泊客の属性データをマーケティングデータとして利用可能とする「観光予報プラットフォーム」を整備し、各地域のDMO機能向上を支援したほか、国内観光情報のポータルサイト「全国観るなび」によりの確に観光情報を提供し、観光需要の喚起を図った。また、観光DXに取り組む事業者や地域等によるマッチング機会を創出するなど、観光DXの推進を図った。

### 1) 最新のマーケティングデータを活用した観光予報プラットフォームの運営・活用（一般事業）

複数の旅行会社からの個人国内外宿泊者の宿泊実績・予約データ、宿泊客の属性データの提供を受け、地域のデータ根拠に基づくマーケティング分析、戦略を支援することで各地域のDMOの機能向上を図った。

また、地域等からの要望に応じ、観光予報プラットフォームデータを活用したレポート作成や需要予測システムの構築支援を行い、さらに決済データやモバイル移動データを追加した。



## 2) 全国観光情報の整備及び国内観光ポータルサイト「全国観るなび」の運営・活用

(全国広域観光振興事業)

一般消費者、企業等の観光情報の利用ニーズに対応して、全国観光情報データベースの整備・運営を行うとともに、観光情報の流通拡大を図ることを目的として、観光情報の収集・提供体制の整備を行った。また、国内観光ポータルサイト「全国観るなび-miru navi」において観光情報の提供を行った。今年度、観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」と連携し、地域と共有する共通のデジタルプラットフォームを構築し、デジタル化、DX化により、観光振興による地域活性化を進めた。

## 3) 全国観光情報データベースの整備 (観光システム分担金事業)

都道府県、市区町村の協力を得て収集した約 12 万件の地域観光情報の整備を行うとともに、引き続き全国観光情報データベースのクラウド化、クロウリング事業による情報提供の実装を図った。

・都道府県の観光 Web サイトと連携したクロウリング実証事業 (令和 6 年度まで)

インターネット上でのデータの自動取得、総務省地方 IoT 実装事業連携

政府が推奨するオープンデータ促進に係る「推奨データフォーマット」を適用している地方自治体・地域、データ提供先がアプリ、サイネージ等で容易にデータを利活用できる体制を整備

参画 令和 2 年度：新潟県・長野県・岡山県・徳島県

令和 3 年度：岐阜県・山口県・大分県

令和 4 年度：佐賀県

## 4) 地域観光情報の流通網の拡大(季節情報の収集・提供事業連携) (一般事業)

全国観光情報データベースの自動配信システム(API)を活用した地域観光情報の効率的な提供を行うとともに、一般消費者等のニーズに対応したデータの整備を行い、地域観光情報の流通網の拡大を図った。

### ●季節・主要イベント情報のクラウド化 (一般事業)

全国観光情報データベースのクラウド化とともに、企業の利用拡大を図った。

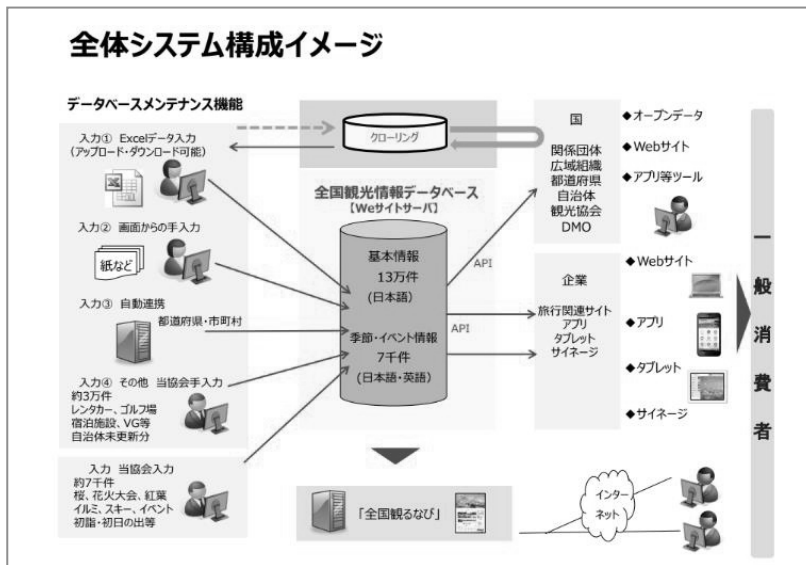
令和 4 年度提供先 全国観光情報データベース 11 社 13 サービス

季節・主要イベント情報 3 社

### 【全国観光情報データベースの整備・提供の流れ】



## 【全国観光情報データベースの全体像】



## 5) 観光 DX 推進に向けたマッチング機会の創出 (一般事業)

### ● マッチングイベント等の実施 (一般事業)

地域、観光事業者の課題に向けたソリューションや拡張機能を紹介するセミナーの開催などを通じ、ビジネスネットワーキングを強化した。

#### ・セミナーの開催

- 名称: 「日観振地域観光 DX セミナー」
- 日時: 令和4年11月30日 14:00~16:00
- 方法: オンラインリアルタイム配信
- 参加者数: 271名

## (3) 観光専門機関としての機能強化

当協会が観光専門家集団となるべく、独自の調査研究を発信する体制と地域に密着した総合的かつ中長期的な視点で課題解決に対応できる体制の整備を行った。そのため、協会が保有する既存資料をはじめとする諸データのデジタルアーカイブ化への取組や外部の学会専門機関や専門人員とのネットワークを構築し、新たな自主調査の実施や地域等からの観光振興計画策定等の受託調査の協働実施を通じ、今後の当協会の発信力と提案力の向上を図った。

### 1) 観光資料のデジタルアーカイブの整備 (日本財団基金事業)

長年取り組んできた調査・提言等の報告書類をデジタル化し、広く公開・共有する仕組みづくりに向けて、季刊観光とまちづくりの2016年度からの記事について、テーマ、年代、地域などのキーワードの抽出を行った。

### 2) 学会等専門機関との連携強化

日本観光研究学会との連携により研究会を開催し、第37回日本観光研究学会全国大会報告会にて、研究の成果及び今後の展開について報告した。

- 研究テーマ: 観光分野における新技術対応とその地域展開  
持続可能な観光地づくりに向けた戦略的観光地マネジメントの構築と活用
- 第37回日本観光研究学会全国大会  
日時: 令和4年12月17日(土) 10:30~12:00  
場所: 金沢大学 角間キャンパス

### 3) 各種調査研究事業の実施

#### ① 観光総合調査（観光の実態と志向）の実施（日本財団助成事業）

昭和39年以来、国民の観光に対する実態や志向を明らかにするため、観光総合調査（観光の実態と志向）を行い、その特徴を時系列で把握するとともに、年次傾向を明らかにした。なお、第31回（平成24年度）より、訪問留置によるアンケート調査をインターネットによる手法に変更し、標本数も4,500サンプルから10,000サンプルに大幅に拡大している。第38回（令和元年度）からは、さらにサンプル数を拡大し、20,000サンプルにて調査を実施している。

本調査では、過去1年間の宿泊観光旅行、今後1年間の宿泊観光旅行の実態や志向について集計分析するとともに、テーマを絞った調査・分析も併せて行っている。第41回（令和4年度）では、第39回、第40回と同様に「コロナ禍における観光旅行に対する意識・実態」をテーマとし、コロナ禍での旅行において必要な情報等について調査し、過去調査との比較分析を行った。

#### ② 観光推進組織の実態把握（日本財団基金事業）

DMO及び観光協会の現状と課題抽出を目的とした地域観光協会実態調査を実施した。近年、自然災害が多発する中、また長引くコロナ禍において、地域の観光推進組織が実施している観光施策や抱えている課題、必要とする情報等を明らかにし、今後の方向性や支援方策を検討することにより、地域における観光の推進体制の強化を図った。

- ・調査対象：都道府県・政令指定都市観光協会・連盟、観光地域づくり法人（DMO）  
主要観光地の市町村観光協会等 512団体
- ・調査内容：事業報告書等資料調査、アンケート調査（回答175団体）、  
ヒアリング調査（10団体）、海外DX事例文献調査
- ・分析内容：組織運営及び事業の実態、今後の方向性と支援策の検討

#### ③ 国や地方自治体等からの受託事業の実施（一般事業）

国や地方自治体等からの受託事業として、国内観光振興に関する調査・分析、地域における観光客数実態調査の実施や観光戦略の策定等を行った。

- ・令和4年度東京都観光客数等実態調査（企画・推計部分）（地方自治体等受託事業）
- ・台東区観光統計調査（地方自治体等受託事業）
- ・世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」及び日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」  
来訪者Webアンケート実施支援業務（地方自治体等受託事業）

#### ④ ツーリズム産業共同提案体への参画によるGo To トラベル事業受託（一般事業）

ツーリズム産業共同提案体に参画し、一般社団法人日本旅行業協会等とともに共同提案体として観光庁よりGo To トラベル事業を令和2～3年度に受託したが、令和4年度においても事業継続となったため当協会として引き続き事務局に職員を派遣し、事業を支援した。

#### ⑤ 刊行物の発行（一般事業・日本財団助成事業）

観光地域づくりを推進する上で必要となる基礎的データを収集した刊行物を発行した。

- ・「数字でみる観光」：現状の観光に関する情報について、図表を用いてコンパクトにまとめたハンドブック。（令和4年12月発行）
- ・「観光の実態と志向」：上記の観光総合調査の結果を取りまとめ、過去のデータから時系列に分析した一冊。（令和4年9月発行）。

---

## 3. 持続的成長（SDGs）に向けた課題への取組

---

### (1) SDGsに即した観光のあり方の追求

観光産業は我が国の成長産業として期待されている一方、排気ガスの増加、ゴミの増加などによる自然環境・生態系への影響など、生活環境の悪化等の環境負荷の増大が懸念されている中で、SDGsに関する観光分野での課題共有と解決に向けて、地域、企業、団体が情報交換及び事業の協働を検討する場を設置し、観光業界が一体となって取り組める体制を整備した。

#### 1) 観光SDGs推進会議（仮称）等による活動（日本財団基金事業）

日本の観光分野がSDGs達成に向けてどのように貢献できるのか、その役割について議論するシンポジウムを開催し、観光関係者等へ情報提供を行った。

名 称：「持続可能な観光推進シンポジウム」

～SDGsを踏まえた新しい教育旅行の今後に向けて～

日 時：令和4年9月23日（金） 13：00～14：30

場 所：東京都江東区 東京ビッグサイト会議棟

参加者数：134名

#### 2) 関係機関と連携した先進的事例の調査及び啓発活動（日本財団基金事業）

##### ●先進的事例の調査及び啓発活動

観光に関連する学会等と連携した研究会を設置し、環境と共存する観光、持続可能な観光に資する戦略的観光地マネジメントの構築に向けて、ロジックモデル等を活用しながら、地域システムのシミュレーション（SDモデル）、観光事業による影響の検討を行った。

・研究会の開催：令和5年2月28日（火） 成果報告及び意見交換

・日本観光研究学会での報告

名称：第37回日本観光研究学会全国大会報告会

日時：令和4年12月17日（土）

場所：金沢大学 角間キャンパス

### (2) 観光危機管理の推進によるレジリエンス向上

近年の各種災害による観光における安全・安心の確保、あるいは情報提供の重要性についての認識が広まっており、地震、津波、台風等の自然災害や感染症等さまざまなリスクを想定した危機管理と観光産業関係者の事業継続に関する対応力を強化するため、日本商工会議所等と連携して対応力強化方策の啓発・普及に向けた検討と支援を行った。

#### 1) 観光危機管理・事業継続力強化研究会による地域及び事業者への対応力強化に向けた支援

（日本財団基金事業）

##### ●観光危機管理・事業継続力強化研究会

日本商工会議所との連携により設置した観光危機管理・事業継続力強化研究会において、地震、津波、台風等の自然災害や感染症等さまざまなリスクを想定した危機管理と観光産業関係者の事業継続に関する対応力を強化するための方策の啓発・普及に向けた検討と支援を行うため、2021年度に作成した3業種（宿泊、観光施設、交通（タクシー・国内船社・貸切バス・鉄道））と2022年度に作成した飲食業モデルBCPを「観光BCP作成ガイド」として改修し、当協会サイト上で公開するとともに、周知・普及するための啓発本の作成、配布を行った。

また、観光関連事業者のBCP策定率の一層の向上に向け、公募により4地域を選定し、「観光BCP作成ガイド」活用したセミナーを開催し、BCP策定支援を行った。

●観光危機管理・事業継続力強化研究会の開催

研究会を3回開催し、事業の進め方等を協議した。

第13回研究会 令和4年4月28日(木) 14:00~15:30(オンライン開催)

第14回研究会 令和4年7月22日(金) 16:00~17:30(リアル開催)

第15回研究会 令和4年10月24日(月) 14:30~15:30(リアル開催)

●観光BCP作成ガイド(「BCP作成で持続可能な観光経営を!」)の発行

宿泊、観光施設、飲食、交通事業者といったいわゆる観光関連事業者向けに、BCP作成の重要性を理解してもらい、作成率向上を目的として啓発冊子を発行した。新型コロナウイルス感染拡大などを含め近年の観光に大きな影響を与えた災害・危機を踏まえながら、BCP自己診断クイズ、業種別事業者による具体的な取組の紹介など、BCP作成を身近に感じてもらう内容となっている。

対象：観光関連事業者

[宿泊、観光施設、飲食、交通(タクシー・国内船社・貸切バス・鉄道)]

●観光関連事業者向けBCP作成支援セミナーの開催

【開催地(共催団体)】(公募により選定)

- ・鴨川観光プラットフォーム株式会社(令和5年1月16日 12名参加)
- ・一般社団法人美しい伊豆創造センター(令和5年1月27日 11名参加)
- ・公益社団法人山形県観光物産協会(令和5年1月31日 15名参加)
- ・一般社団法人埼玉県物産観光協会(令和5年1月20日・2月8日 17名参加)

●観光関連事業者向けBCP作成支援セミナーの開催

観光危機管理及びBCP作成のさらなる普及啓発を図り、具体的なアクションにつなげる契機として、「観光危機管理BCPシンポジウム~災禍に負けない観光経営を!」を開催した。

日時：令和5年3月13日(月) 15:00~16:30

方法：オンラインリアルタイム配信

登録者数：163名(リアルタイム配信及び録画配信)

## 2) 自然災害等に対する観光地域への積極的支援

●観光地緊急支援事業(全国広域観光振興事業)

大規模な自然災害等での被災や感染症対策等の地域における観光振興のために有効な事業を都道府県や都道府県観光協会(連盟等)と協力して、風評被害の払拭、当該地域の観光の再生を図るための支援を行う事業であるが、本年度は該当案件がなかった。

## (3) 観光教育の普及と観光人材の育成

旅の意義、楽しさ、旅の効用、ツーリズム産業の重要性(経済波及効果)を通じ、国際理解、環境、職業観について教示するとともに、ツーリズム産業の認識度向上を目的として、当協会が実施する各種事業と連携して小中学生を中心とした観光教育の普及促進を行った。

また、産業と地域の担い手となる人材の育成を支援する研修教材及び講師の充実、DMO組織等への人材派遣を支援し、観光マネジマント人材の育成や観光産業を担う経営幹部の育成研修や大学への寄附講義などを実施し、これからの観光を担う多様な人材を育成した。



## 1) 小中学生を対象とした観光教育普及促進

### ●観光教育推進事業（日本財団基金事業）

昨年度作成した観光教育副教材改訂版に準拠した「教師用手引書」を新たに作成するとともに、地域の初等教育機関に対する出前授業を新潟県妙高市で実施した。これらの取組により、副教材や手引書をツールとした観光教育の機会を促進した。出前授業の実施概要は以下のとおり。

日 時：令和4年12月9日（金）

形 式：対面

対 象：新潟県妙高市内の3小学校 約40名の児童生徒

（斐太北小学校6年生、新井南小学校5・6年生、妙高高原北小学校5・6年生）

場 所：妙高高原メッセ

講 師：東京成徳大学 特任教授 寺本潔氏

協 力：妙高市教育委員会、妙高市観光商工課 観光交流グループ

## 2) 日本観光振興アカデミー・人材育成事業

### ①産学連携・人材育成委員会事業（一般事業）

観光産業界と大学機関が連携しながら、ツーリズム産業の将来を支える多様な人材の発掘と育成のための事業促進を目的として運営した。

### ②大学への寄附講義事業（一般事業）

観光行政の幹部、ツーリズム産業界の第一線で活躍している経営幹部及び実務経験者、また観光関係の学識経験者を大学に招いて、産学連携によるオムニバス形式の講義やグループ研究等を通じて、大学生に観光を学んでもらう寄附講義を開講した。

（後期課程） 東京都立大学、一橋大学、山形大学

### ③会員等関係機関の行う研修会、後援等への講師の派遣又は幹旋（一般事業）

令和4年度においては、次の地域等に協会役職員を講師として派遣した。

日程	主催団体	会合名	講師名
7月7日	東洋大学 国際観光学部	学部領域説明会	塚脇 七海
8月30日	栃木県(県民生活部県民文化課文化振興担当)	とちぎの文化の新たな魅力創造・発信キックオフ・シンポジウム	久保田 穰
9月2日	東京女子大学	ホスピタリティ論(集中講義)	岩本 裕美
9月28日	一般社団法人地方創生パートナーズネットワーク	「酒蔵ツーリズム」「日本と台湾の双方向交流」をテーマとしたウェビナーシンポジウム	杉野 正弘 大須賀 信
9月30日	一般社団法人全国農協観光協会	令和4年度農林水産省東海農政局農山漁村交付金事業（農泊推進プロモーション）in 南知多	大須賀 信
10月21日	一般社団法人全国農協観光協会	令和4年度農林水産省東海農政局農山漁村交付金事業（農泊推進プロモーション）in 岐阜	大須賀 信
11月12日	北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会	広域観光サミット	久保田 穰
12月5日	一般社団法人ものづくり改善ネットワーク	開かれたものづくり研究会 第18回	久保田 穰
12月13日	観光予報プラットフォーム推進協議会	「観光」DXのありかたと観光予報プラットフォームができること	大須賀 信

12月17日	日本大学 国際関係学部 国際関係研究所	日本大学国際関係学部国際関係研究所フォーラム 2022「国際観光における静岡県の課題～with コロナの地域と観光」	久保田 穰
1月17日	一般社団法人 全国農協観光協会	令和4年度農林水産省東海農政局農山漁村交付金事業(農泊推進プロモーション) in岡崎	大須賀 信
1月26日	公益社団法人日本技術士会 北海道本部	社会活動委員会 北海道インフラ技術政策研究委員会 第5回研究会	久保田 穰
1月31日	鹿児島県南薩地域振興局	令和4年度観光セミナー	安本 達式
2月16日	金沢市経済局金沢営業戦略室	金沢市首都圏企業連絡会議	波多腰 実
2月25日	立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会	立山黒部を愛する会	波多腰 実
3月13日	淑徳大学 経営学部	創設10周年記念シンポジウム	久保田 穰
3月24日	一般社団法人 南砺市観光協会	南砺市観光協会 DMO 勉強会	岩本 裕美 波多腰 実

#### ④「地方創生カレッジ」官民連携講座実施業務とeラーニング講座制作業務の受託（一般事業）

官民連携講座は国の補助により運営されている「地方創生カレッジ」eラーニング講座の受講とスクーリングによる実地研修を効果的に組み合わせ、知識やスキルを習得する取組である。当協会では令和元年度より受託事業として官民連携講座を開催しているが、令和4年度は、「地方創生カレッジ in 大分県北部エリア これからの観光地経営に活かす デジタル・スキルの学びと実践」と題し、大分県豊の国観光圏エリアにて、データ分析と観光振興計画策定をテーマに集合研修を開催した。研修では、これからの持続可能な観光地経営のための指標を考え、統計資料やビッグデータ等の特性・分析方法を習得し、指標としての活用方法、指標の現状を可視化するデータプラットフォーム等を検討した上で、新たなターゲット層の措定、必要となるデータ分析を検討した。

主催：公益財団法人日本生産性本部（共催：公益社団法人日本観光振興協会）

日時：①令和5年3月2日（木）13:30～17:00

②令和5年3月15日（水）13:30～17:00

開催地：大分県豊後高田市役所 高田庁舎

参加者：行政、観光協会、観光地域づくり法人（DMO）、観光振興に興味関心のある方13名

また、昨今の観光動向や新しいツーリズムの機運等を踏まえ、新規に以下の6講座を制作し「地方創生ビデオライブラリー」にて提供を開始した。

タイトル	講師
観光データ分析と計画策定 1～4	東京都立大学都市環境学部観光科学科教授 清水 哲夫 氏
持続可能な地域づくりと観光	一般社団法人地域観光研究所 主任研究員 岡田 美奈子 氏
宿泊業における観光DX	國學院大學教授（観光まちづくり） 井門 隆夫 氏

### ⑤観光人材育成研修メニューと講師の充実（全国広域観光振興事業）

観光地域づくりにとって必要とされる中核的な人材を育成するため、ニューノーマル時代に対応した観光のあり方をはじめとした、多様なメニューを取り揃えた人材育成プログラムの策定・提示、講師紹介等の各種調整などにより観光地域づくり人材育成研修の支援を継続した。具体的には、研修メニューや観光アドバイザー等を紹介しているWebサイト「観光地域づくり研修ナビ」内の登録講師の情報や問合せフォームを改訂し、より円滑な情報共有の機会を図った。当サイトを通じて、研修やセミナー等のマッチング支援を行った団体は下表のとおり。また、モデル地域を選定して、観光地域診断ツールを用いた調査を行い、その調査結果を活用して観光関連業務に携わる方々を対象としたセミナー等を実施した。

主催団体	研修内容・テーマ
埼玉県坂戸市	観光ボランティアガイドの確保を目的とした養成講座
石川県 県民スポーツ部 文化振興課	兼六園周辺のレトロな建物の見所を紹介する「レトロ建築ボランティアガイド」の研修
富士五湖観光連盟	SNSマーケティング手法について
公益社団法人三重県観光連盟 株式会社百五銀行	持続可能な観光地に向けて
公益社団法人三重県観光連盟 株式会社百五銀行	Withコロナを見据えた三重県の観光戦略
一般社団法人 全国農協観光協会	農泊にかかる個人旅行の企画、受入体制、OTA、テレワーク、ワーケーションなど。ワークショップでは、ワーケーションのコンセプト設定、誘客ターゲットの手法
一般社団法人 南丹市美山観光まちづくり協会	里歩きツアーにおける安全管理
一般社団法人 南丹市美山観光まちづくり協会	多様なお客様のガイディング

### 3) 世界の観光地や国内先行事例から地域課題への対応などを学ぶセミナー（全国広域観光振興事業）

米国のDMOの業界団体であるDI(デスティネーションズ・インターナショナル)とカナダの調査会社であるNEXT FACTOR社(以下、NF社とする)が推奨する観光地域診断ツールを用いて、観光地の現状を評価し、地域におけるゴールとそれに向かう施策の一助とした。今回はD-NEXTの分析レポート版を用いることで、4か所のDMO(小樽市観光協会、あきた白神ツーリズム、郡山市観光協会、山陰インバウンド機構)を支援した。2月にはNF社を招き、各DMOや地域関係者が参加する4DMO合同ウェビナーを実施した。調査結果から各DMOが課題を抽出し、NF社からもアドバイスを受けることで、日本のDMOにおける共通課題を可視化した。また、NF社からは世界の観光のトレンドを分析しDMOがとるべき戦略などを提案する「Future Study」の講義があった。同セミナーを通じて、世界のDMOの潮流を理解し、日本の地域課題対応への重要性を学ぶ機会を提供した。

#### ●Destination NEXTセミナー

日時：令和5年2月17日

形式：ハイブリッド（Zoomミーティング）

参加者：Destination NEXTを導入した9地域、NEXT FACTOR社

場所：コモレ四谷

#### 4) 観光マネジメント人材の育成

##### ●観光経営トップセミナー開催事業（日本財団基金事業・一般事業）

令和2年度・3年度の休催を経て、カリキュラム内容を刷新の上開催し、従前どおり、観光産業の幹部候補生を対象とした少数精鋭型のセミナーとして実施した。カリキュラムには今後の観光産業における潮流を加味し、講師には産官学のトップマネジメントを招請し、今後の観光経営人材の育成及び人材のネットワーキングの機会を提供することを目指した。

主 催：東京都立大学、公益社団法人日本観光振興協会（共催）

日 時：令和4年10月17日・18日、11月7日・8日

形 式：対面

受講者：21法人 24名

場 所：クリーク・アンド・リバー社

---

## 4. 協会職員の働きがい創出に向けた取組

---

職員一人ひとりが目標に向かって挑戦できる環境を整備することは、職場が新しい価値創造を行うための重要条件といえる。当協会においても、職員それぞれが求めるプログラム（外部の観光関連学会や研修会への参加等）を積極的に支援する環境を整備し、個人が持つ能力を最大限活用し、会員等へのサービス向上を図った。また、個人がそれぞれ、観光を取り巻く環境の変化に対応し、観光産業界あるいは地域の観光政策を立案、実施できる観光専門家の育成を行った。

### ①日観振基礎講座の実施

昨年度に引き続き当協会の強みである幅広いネットワークを活用し、協会内外の有識者や関係者と協会職員による「日観振基礎講座」を開催し、協会職員の見識の向上に努めた。

#### ●第4回基礎講座

- ・日時

令和4年12月8日（木）13時30分～14時45分

- ・内容

N E Cにおける最先端の観光D Xに関する取組み

- ・講師

日本電気株式会社クロスインダストリー事業開発部門 観光DXグループ長 山本 啓一朗 様

#### ●第5回基礎講座

- ・日時

令和5年2月27日（月）13時30分～14時30分

- ・内容

株式会社バリューズによる2022年観光関連サイト推計閲覧者数ランキングについて

- ・講師

株式会社バリューズ 星 妙佳 様

### ②外部団体の主催する研修等への職員の派遣

#### ●「ワーケーション・コレクティブインパクト2022」への参加

ワーケーション自治体協議会（WAJ）が主催する「ワーケーション・コレクティブインパクト2022」（北海道（2名）、長野県（1名）、鳥取県（1名）、和歌山県（1名））に職員を派遣した。

#### ●「フェニックス塾」への参加

一般社団法人東北観光推進機構の主催する「フェニックス塾」に職員を1名派遣し、東北地域の関係機関と連携するとともに、職員の視野とネットワークの拡大を図った。

#### ●観光政策〔官民連携〕研修

国土交通省の実施する「観光政策〔官民連携〕研修」に職員を1名派遣し、観光庁、地方運輸局など関係機関と連携するとともに、職員の視野と発想の拡大を図った。

### ③時差出勤・在宅勤務・ワーケーションなどの継続実施

役職員ひとりひとりが働きやすい勤務環境をつくるため、時差出勤・在宅勤務・ワーケーション勤務などの勤務形態を継続実施した。

---

## 5. 組織活動事業

---

### (1) 組織活動事業

#### 1) 諸会議の開催

##### ①令和4年（第59回）通常総会

- ・日 時：令和4年6月10日（金）15:00～16:00
- ・場 所：東京プリンスホテル（東京都港区）
- ・議 題：
  - 第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算（案）
  - 報告事項 令和4年度事業計画及び収支計画
  - 第2号議案 役員を選任について（案）

##### ②第184回理事会

- ・日 時：令和4年5月19日（木）13:30～15:00
- ・場 所：東京プリンスホテル（東京都港区）
- ・議 題：
  - 議案1 令和3年度事業報告（案）・決算（案）及び代表理事・業務執行理事業務報告について
  - 議案2 災害対策引当資産の創設（案）について
  - 議案3 全国広域観光振興基金への利息相当額の繰入（案）について
  - 議案4 令和4年度第59回通常総会提出議題について
  - 議案5 会員の入会について

##### ③第185回理事会

- ・日 時：令和4年6月10日（金）16:00～16:20
- ・場 所：東京プリンスホテル（東京都港区）
- ・議 題：
  - 議案1 会長・副会長・理事長・副理事長・常務理事の選定について
  - 議案2 会員の入会について

##### ④第186回理事会

- ・日 時：令和5年3月17日（金）13:30～15:00
- ・場 所：東京プリンスホテル（東京都港区）
- ・議 題：
  - 議案1 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
  - 議案2 全国広域観光振興基金の取り崩し（案）について
  - 議案3 会員の入会について
- ・報告事項
  - ① 代表理事・業務執行理事業務報告について
  - ② 令和5年度第187回理事会並びに第60回通常総会及び第188回理事会について

## ⑤全国広域観光振興事業運営評議会の開催

第46回

- ・日 時：令和4年7月28日（木）14:00～16:00
- ・場 所：KKRホテル東京（東京都千代田区）

第47回

- ・日 時：令和5年3月1日（水）14:00～16:00
- ・場 所：KKRホテル東京（東京都千代田区）

## ⑥正副会長・支部長合同会議

- ・日 時：令和5年3月17日（金）12:00～13:20
- ・場 所：東京プリンスホテル（東京都港区）

## 2) 各種委員会の開催

※各委員長の氏名・役職等については、令和5年3月末日時点でのものを記載した。

### ①企画委員会（委員長：花坂 隆之 株式会社JTB代表取締役専務執行役員）

協会の事業全般について新しい視点からの運営を行っていくため、協会運営の重要な課題について審議検討する会長の諮問機関として設置。

第1回：令和4年6月2日（木） 16:00～17:30

- 議 題：・観光庁との意見交換  
・インバウンド復活に向けた機運醸成の方策について

第2回：令和4年7月29日（金） 16:00～17:30

- 議 題：・観光庁との意見交換  
・各社・団体の需要喚起策の取組等について（フリーディスカッション）  
・水際対策について

第3回：令和4年9月30日（金） 16:00～17:30

- 議 題：・観光庁との意見交換  
・観光立国推進協議会について（フリーディスカッション）

第4回：令和4年12月2日（金） 16:00～17:30

- 議 題：・観光庁との意見交換  
・当協会令和5年度事業計画骨子案（素案）について

第5回：令和5年2月3日（金） 16:00～17:30

- 議 題：・観光庁との意見交換  
・日本観光振興協会令和5年度事業計画骨子案について

### ②産学連携・人材育成委員会

（委員長：小川 周一郎 株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド取締役常務執行役員）

観光産業界と大学機関が連携しながら、ツーリズム産業の将来を支える多様かつ優秀な人材の発掘と育成のための事業を促進することを目的として運営。

第1回：令和4年9月15日（木）16:00～17:00（於：日本観光振興協会会議室）

- 議 題：・令和4年度 下期寄附講義の実施状況について

- ・令和4年度 観光経営トップセミナーの実施について
- ・令和4年度 日本学生観光連盟主催「講演会」後援について
- ・山形大学寄附講義の今後について

第2回：令和4年12月14日（水）16:00～17:00（於：日本観光振興協会会議室）

- 議 題：・令和4年度 観光経営トップセミナーの実施報告
- ・令和4年度 日本学生観光連盟主催「講演会」の実施報告
  - ・令和4年度 寄附講義の実施状況（一橋大学）
  - ・令和5年度 寄附講義事業における大学選定の方向性について
  - ・令和5年度 出捐金のご意向確認

第3回：令和5年3月23日（木）15:00～16:00（於：日本観光振興協会会議室）

- 議 題：・令和4年度 寄附講義の実施報告
- ・観光庁からの情報共有（観光人材育成ガイドライン策定について）
  - ・寄附講義事業の方向性について（令和6年度以降の実施大学選定状況）
  - ・令和5年度 産学連携育成事業計画
  - ・令和5年度 地域における企業と大学の産学連携促進について

### ③双方向交流促進委員会（委員長：中野 星子 日本航空株式会社 執行役員旅客販売統括）

地域における訪日旅行と海外旅行の活性化を図るとともに、当協会事業への提言や参画、協力・支援を行うことを目的に設置。令和4年度は、主テーマを「ウィズコロナ・アフターコロナに向けたインバウンド・アウトバウンドのあり方とその促進」とし、議論を行った。

第1回：令和4年6月10日（金）10:00～12:00（於：日本観光振興協会会議室）

- 議 題：・ハワイ、韓国、フィリピン（WTCC）等の視察報告
- ・インバウンド実証実験と日本入国の新防疫体制 等

第2回：令和5年3月20日（月）15:30～17:00（於：日本観光振興協会会議室）

- 議 題：・2022日台観光サミット、台湾ITF2022・商談会報告
- ・WTTCサウジアラビア大会参加報告
  - ・水際対策緩和後の現状と課題 等

### ④国内観光促進委員会（委員長：中村 晃 株式会社ANA 総合研究所 取締役副社長）

全国旅行支援スタートを受け、アフターコロナのテーマとして「国内観光におけるSDGs」について取組の共有を図り、課題解決に向けた議論を行った。

第1回：令和4年8月25日（木）15:00～17:00（於：日本観光振興協会会議室）

- 議 題：・SDGs取組事例の共有 等

第2回：令和5年3月22日（水）15:00～17:00（於：日本観光振興協会会議室）

- 議 題：・SDGs学習プログラム視察報告（岡山県備前市）
- ・全国旅行支援後における現状と課題 等



### 3) 行催事への後援・協賛等

各種観光関連行催事を支援するため、次のとおり行催事への後援・協賛等を行った。

<後援>

行 催 事 名	申 請 者
第 47 回「京の夏の旅」キャンペーン	公益社団法人京都市観光協会
山形県の観光と物産展	山形県の観光と物産展実行委員会
※交通総合文化展 2022「新日本観光写真展」	公益財団法人日本交通文化協会
日本地域情報コンテンツ大賞 2022	一般社団法人日本地域情報振興協会
アウトドアダイジャパン大阪 2022	一般社団法人日本オートキャンプ協会
大学生観光まちづくりコンテスト 2022	大学生観光まちづくりコンテスト運営協議会
第 34 回新宿御苑森の薪能	新宿御苑森の薪能実行委員会・ 一般社団法人新宿観光振興協会
セミナー「日本の魅力を世界に！クールジャパン 戦略に対する地域の磨き上げ勉強会」	株式会社サーベイリサーチセンター
ロングステイフェア 2022	一般財団法人ロングステイ財団
五泉市国際フォーラム	一般社団法人五泉市観光協会
ふるさと祭り東京 2023	ふるさと祭り東京実行委員会
※第 65 回岡山県後楽園菊花大会	岡山県
第 17 回国内観光活性化フォーラム in やまがた	一般社団法人全国旅行業協会
DMO セミナー	一般社団法人地方創生パートナーズネットワーク
令和 4 年度離島の交流推進支援調査業務 「アイランダー2022」	国土交通省
第三十四回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞	伊藤園新俳句大賞実行委員会
第 3 回国学院大学『観光まちづくり』フォーラム	国学院大学
第 2 回日本観光ショーケース in 大阪・関西	日本観光ショーケース実行委員会
第 21 回ドリーム夜さ来い祭り	一般財団法人ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団
第 57 回「京の冬の旅」キャンペーン	公益社団法人京都市観光協会
九州 ICT セミナー2022	総務省九州総合通信局
セミナー「調査会社がやってみた♪顧客を惹きつ ける体験型観光コンテンツ造成のポイント」	株式会社サーベイリサーチセンター
第 1 回宿フェス	全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部
第 12 回鉄旅オブザイヤー	鉄道旅客協会
全国商工会議所観光振興大会 2022in えひめ松山	日本商工会議所
アウトドアダイジャパン 2023	一般社団法人日本オートキャンプ協会
令和 5 年春「水の都おおがき水門川舟下り事業」	大垣観光協会
「森林サービス産業」フォーラム 2023	公益社団法人国土緑化推進機構
2023 年度「旅行地理検定試験」	旅行地理検定協会
和食検定事業	一般財団法人日本ホテル教育センター

<協賛>

行 催 事 名	申 請 者
※第 62 回新潟県菊花展覧会	新潟県菊花連盟
第 51 回国際ホテル・レストラン・ショー (HOTERES JAPAN2023)	一般社団法人日本能率協会
令和 4 年全国暴力追放運動中央大会	警察庁・全国暴力追放運動推進センター
日本の宿 おもてなし検定	日本の宿 おもてなし検定委員会

※は、当協会会長賞・記念品等を同時に授与

<協力>

行 催 事 名	申 請 者
第76回全国レクリエーション大会	公益財団法人日本レクリエーション協会
第30回地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会やまぐち」	一般財団法人地域伝統芸能活用センター
ポストコロナ観光地ブランディング視察ツアーin HAWAII	公益財団法人日本交通公社
湘南ひらつか観光フェスティバル2023	一般社団法人平塚市観光協会

<共催>

行 催 事 名	申 請 者
ワーケーション・コレクティブインパクト 2022	ワーケーション自治体協議会
企業向けワーケーション導入支援セミナー2022	一般社団法人日本経済団体連合会

<会長賞>

行 催 事 名	申 請 者
2022 年度第 63 回全国推奨観光土産品審査会	日本商工会議所・全国観光土産品連盟
令和 4 年度おぢや牛の角突き	小千谷観光協会

## 4) 観光関係団体との連携、協議等

### ①観光関係団体事務局長会議（一水会）の開催

観光関係団体の情報交流のため、観光関係団体事務局長会議（一水会）を開催した。

構成：観光関係全国団体 22団体 \*令和5年3月31日時点

公益社団法人国際観光施設協会	一般社団法人国際観光日本レストラン協会
一般社団法人日本旅館協会	一般社団法人全国農協観光協会
一般社団法人全国旅行業協会	一般社団法人全日本ホテル連盟
一般社団法人日本オートキャンプ協会	一般社団法人日本温泉協会
一般社団法人日本海外ツアーオペレーター協会	一般社団法人日本添乗サービス協会
一般社団法人日本ホテル協会	一般社団法人日本ホテルバーメンズ協会
一般社団法人日本旅行業協会	一般財団法人国際観光サービスセンター
一般財団法人地域伝統芸能活用センター	公益財団法人日本交通公社
公益財団法人日本修学旅行協会	公益財団法人日本ナショナルトラスト
一般財団法人日本ホテル教育センター	株式会社JTB
一般社団法人日本コンベンション協会	公益社団法人日本観光振興協会

開催状況：

令和4年4月6日（水）12:00～13:00	当協会会議室
令和4年7月6日（水）12:00～13:00	当協会会議室
令和4年9月7日（水）12:00～13:00	当協会会議室
令和4年10月5日（水）12:00～13:00	当協会会議室
令和4年11月2日（水）12:00～13:00	当協会会議室
令和4年12月7日（水）12:00～13:00	当協会会議室
令和5年2月1日（水）12:00～13:00	当協会会議室
令和5年3月8日（水）12:00～13:00	当協会会議室

### ②自動車旅行推進事業

自動車旅行の推進による観光振興、自動車による個人旅行の活性化や市場化を目的とした企業、団体、地域等との連携により、平成19年4月に「自動車旅行推進機構」（通称「カーたび機構」）が発足した。当協会は、当機構設立時からメンバーとして参画している。

### ③関係機関の事業促進についての参加・協力

地域の観光振興を推進するため、他の機関が開催する諸会議に参加、協力した。

また、当協会役員等が、政府・公共団体並びに観光団体等の役員・委員等に就任し、それぞれ当該機関の業務の推進を通して、観光事業の振興に努めた。

## (2) 総務事項

### 1) 役員を選任

令和4年度（第59回）通常総会において、下記のとおり役員を選任が行われた。

（☆印が新任、令和4年6月10日時点）

会 長	山 西 健一郎	三菱電機株式会社シニアアドバイザー
副 会 長	植 木 義 晴	日本航空株式会社取締役会長
〃	☆大 西 雅 之	一般社団法人日本旅館協会会長
〃	☆片野坂 真 哉	ANAホールディングス株式会社代表取締役会長
〃	後 藤 高 志	株式会社西武ホールディングス代表取締役社長
〃	高 橋 広 行	株式会社JTB取締役会長
〃	田 中 誠 二	公益社団法人京都市観光協会会長
〃	富 田 哲 郎	東日本旅客鉄道株式会社取締役会長
〃	原 田 一 之	京浜急行電鉄株式会社取締役会長(代表取締役)
〃	☆平 井 伸 治	全国知事会会長
〃	安 富 正 文	東京地下鉄株式会社顧問
理 事 長	久保田 穰	
副理事長	鈴木 昭 久	
常務理事	皆 見 薫	
理 事	泉 雅 文	四国旅客鉄道株式会社相談役
〃	唐 池 恒 二	九州旅客鉄道株式会社取締役相談役
〃	☆小金澤 健 司	(株)アイティ・コミュニケーションズ代表取締役会長・ 公益社団法人北海道観光振興機構理事候補者
〃	佐々木 茂 喜	一般社団法人広島県観光連盟会長
〃	☆嶋 田 泰 夫	阪急電鉄株式会社代表取締役社長
〃	下 地 芳 郎	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー会長
〃	鈴木 広 士	東海旅客鉄道株式会社取締役常務執行役員
〃	深 谷 光 浩	東日本旅客鉄道株式会社常務執行役員東京支社長
〃	三 林 宏 幸	東日本旅客鉄道株式会社執行役員仙台支社長
〃	☆内 山 尚 志	企画政策部門長兼任
〃	大 島 正 敬	企画政策部長・渉外部長兼任

以上理事 25名

評議役員	安 藤 隆 司	名古屋鉄道株式会社代表取締役会長
〃	石 井 清 裕	公益社団法人岡山県観光連盟会長
〃	石 指 雅 啓	公益社団法人日本バス協会理事長
〃	石 田 徹	日本商工会議所専務理事
〃	稲 山 博 司	全国市長会事務総長
〃	岩 崎 貞 二	一般社団法人全国レンタカー協会会長
〃	☆岩 村 有 広	一般社団法人日本経済団体連合会常務理事
〃	☆潮 田 勉	東京都副知事
〃	大 庭 靖 雄	公益財団法人日本ナショナルトラスト理事長
〃	☆荻 原 正 寿	公益社団法人栃木県観光物産協会会長
〃	☆小野寺 聡	一般財団法人休暇村協会常務理事
〃	小 島 徹	東日本高速道路株式会社代表取締役社長

〃	加賀見	俊夫	株式会社オリエンタルランド代表取締役会長(兼)CEO
〃	神谷	俊一	千葉市長
〃	☆百木田	康二	東武トップツアーズ株式会社代表取締役社長執行役員
〃	来島	達夫	西日本旅客鉄道株式会社顧問
〃	小谷野	悦光	株式会社日本旅行代表取締役社長
〃	近藤	幸二	一般社団法人全国旅行業協会副会長
〃	島	雅之	一般社団法人日本自動車連盟専務理事
〃	清水	嗣能	一般社団法人全日本ホテル連盟会長
〃	志村	格	一般社団法人日本旅行業協会理事長
〃	☆杉本	達治	福井県知事
〃	鈴木	直道	北海道知事
〃	鈴木	裕	公益社団法人国際観光施設協会会長
〃	清野	智	独立行政法人国際観光振興機構理事長
〃	鷹城	勲	日本空港ビルデング株式会社代表取締役会長兼CEO
〃	☆瀧	修一	一般社団法人岐阜県観光連盟会長
〃	滝	久雄	株式会社ぐるなび取締役会長・創業者
〃	武居	丈二	全国町村会事務総長
〃	多田	計介	全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会会長
〃	☆中島	正信	全国知事会事務総長
〃	長崎	幸太郎	山梨県知事
〃	仁坂	吉伸	和歌山県知事
〃	根津	嘉澄	東武鉄道株式会社代表取締役社長社長執行役員
〃	林田	浩一	公益社団法人福岡県観光連盟会長
〃	久元	喜造	神戸市市長
〃	平井	康博	公益社団法人山形県観光物産協会会長
〃	広瀬	勝貞	大分県知事
〃	福島	伸一	公益財団法人大阪観光局会長
〃	福本	啓二	一般社団法人日本民営鉄道協会理事長
〃	堀内	光一郎	富士急行株式会社代表取締役社長
〃	丸山	達也	島根県知事
〃	三村	申吾	青森県知事
〃	森	浩生	一般社団法人日本ホテル協会会長
〃	安田	眞一	一般社団法人国際観光日本レストラン協会会長
〃	矢田	博嗣	一般財団法人徳島県観光協会理事長
〃	山崎	潤一	東海汽船株式会社代表取締役社長
〃	山村	明義	東京地下鉄株式会社代表取締役社長
〃	横田	信秋	一般社団法人全国空港事業者協会会長
〃	米田	昭正	KNT-CTホールディングス株式会社代表取締役社長

以上評議役員 50名

監事	天谷	直昭	一般社団法人日本旅客船協会理事長
〃	大下	航	公認会計士
〃	原口	宰	株式会社ジェイアール東日本企画代表取締役会長

以上監事 3名

## 2) 功労者表彰

観光事業界において特に功績のあった以下13名の方々を、観光振興事業功労者として令和4年度第59回通常総会（東京都）の席上で表彰し、山西会長から賞状及び記念品を授与した。

【北海道支部】	西野目信雄	一般社団法人層雲峡観光協会 会長
【東北支部】	渡邊 和裕	株式会社山水荘 代表取締役社長
【関東支部】	加藤 高藏	一般社団法人茨城県観光物産協会 副会長 一般社団法人水戸観光コンベンション協会 会長
【関東支部】	森 行成	旅館さかや 代表取締役会長
【関東支部】	浅川 力三	一般社団法人北杜市観光協会 会長
【中部支部】	堀 泰則	一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会 会長
【関西支部】	三好三重子	松阪ガイドボランティア友の会 会長
【関西支部】	森嶋 篤雄	一般社団法人近江八幡観光物産協会 会長
【中国支部】	佐々木克己	一般社団法人広島県生活衛生同業組合連合会 会長 一般社団法人広島県観光連盟 理事
【四国支部】	谷口 宏	一般社団法人三好市観光協会 前会長 新祖谷温泉ホテルかずら橋 代表取締役会長
【九州支部】	中村雄一郎	一般社団法人鹿島市観光協会 会長
【九州支部】	桑野 和泉	公益社団法人ツーリズムおおいた 元会長 株式会社玉の湯 代表取締役社長
【沖縄支部】	大城 吉永	那覇市観光ホテル旅館事業協同組合 相談役 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合 相談役

---

## 6. 支部事業

---

各支部において、それぞれ会員との連絡、協議、意見交換等の組織活動事業、地域の観光宣伝事業、観光情報収集・提供事業、観光地美化事業、研修事業、研究調査事業等を地域の会員、関係機関等の連携、協力の下に実施した。

また、各支部は本部が主催した以下の会議にそれぞれ参加した。

- |                  |           |     |
|------------------|-----------|-----|
| ・令和4年度（第59回）通常総会 | 令和4年6月10日 | 東京都 |
| ・第184回理事会        | 令和4年5月19日 | 東京都 |
| ・第185回理事会        | 令和4年6月10日 | 東京都 |
| ・第186回理事会        | 令和5年3月17日 | 東京都 |

### ■北海道支部

#### I. 一般事業

##### 1. 広報啓発事業

###### (1) 「第58回江差追分全国大会」について

コロナ禍のため2年間中止となっていた同大会が、令和4年9月16日～18日に江差町文化会館において3年ぶりに開催され、支部として後援を行うとともに、優勝者に賞状、トロフィーを授与した。

##### 2. 観光交流活性化事業

###### (1) 「観光地合同美化キャンペーン」

観光地の美化推進のため地元の地方自治体・観光協会等の団体と協力し「合同美化キャンペーン」を実施し、清掃活動や植樹等を行ってきた。

###### ①江差町

実施日 令和4年7月27日、8月24日、9月28日

場 所 かもめ島浜辺（前浜、えびす浜、ゴロンベエ浜）、前浜側駐車場、江差港西防波堤

###### ②札幌市定山溪地区

実施日 令和4年8月26日、9月22日、11月7日

場 所 二見定山の道 散策路整備

参加協力団体 定山溪自然倶楽部

###### ③上川町層雲峡地区

実施日 令和4年6月30日

場 所 層雲峡温泉から銀河・流星の滝までの歩道部分並びに銀河・流星の滝及び大函の駐車場

###### (2) 「令和4年度観光地美化プランター配付事業」

観光地の環境美化活動の推進を目的に、花を用いて景観を整備する「花の観光地づくり」を支援しており、今年度も花による地域の観光振興を目指す次の地域に、一般財団法人日本宝くじ協会からの助成を得て耐久性の高い木製のプランターを配布した。

- ・令和4年度配付先 雄武町、一般社団法人定山溪観光協会

### 3. 新たな観光需要創造事業

#### (1) 「ツーリズムEXPOジャパン2022」支援

北海道観光振興機構とともにブースを出展。ブースは、大自然をイメージさせる白樺をモチーフとしたデザインを採用し、北海道の自然を体感できるブースとした。また、背面には北海道の各地域が情報発信するステージ企画やワークショップも展開し、ステージでは「民族共生象徴空間 ウポポイ」や、世界遺産に認定された「北海道・北東北の縄文遺跡群」、「北海道ボールパーク Fビレッジ」などを紹介し、来場者から人気を博した。

#### (2) 「北海道教育旅行説明会・相談会」への参加

北海道観光振興機構が主催する教育旅行説明会・相談会に参加し、北海道の特徴的な学習素材や学習プログラムを学校や旅行会社に紹介し、教育旅行の誘致を行った。

##### ①仙台会場

開催日 令和4年8月4日

参加者 北海道側 36名（市町村、観光協会、観光事業者等）  
仙台側 20名（学校関係者、旅行会社）

##### ②さいたま会場

開催日 令和4年8月5日

参加者 北海道側 41名（市町村、観光協会、観光事業者等）  
さいたま側 32名（学校関係者、旅行会社）

### 4. 組織活動事業・政策提言事業

#### (1) 令和4年度第59回日本観光振興協会北海道支部通常総会

- ・開催日 令和4年5月23日（月）
- ・開催場所 JRタワーホテル日航札幌
- ・会員総数 59名（出席者数21名 書面議決状提出者38名）
- ・提出議題
  - ア. 令和3年度事業報告及び収支決算報告（案）
  - イ. 令和4年度事業計画及び収支予算（案）
  - ウ. 令和4年度役員について

#### (2) 令和4年度第59回日本観光振興協会本部通常総会

- ・開催日 令和4年6月10日（金）
- ・開催場所 東京プリンスホテル

#### (3) 日本観光振興協会本部理事会

- ・第184回理事会 令和4年5月19日 東京プリンスホテル
- ・第185回理事会 令和4年6月10日 東京プリンスホテル
- ・第186回理事会 令和5年3月17日 東京プリンスホテル

#### (4) 全国広域観光振興事業運営評議会

- ・第46回 令和4年7月28日 KKRホテル東京
- ・第47回 令和5年3月1日 KKRホテル東京

#### (5) 観光政策提言活動

日本観光振興協会本部が行った以下の提言、要望について道内関係機関、団体、支部会員等に周知を行った。



- ・「水際対策緩和に関する要望書」（斉藤鉄夫国土交通大臣宛）

(6) 令和5年度全国広域観光振興事業に係る拠出金の予算措置依頼

- ・日時 令和4年10月27日
- ・内容 久保田理事長から北海道（経済部観光局長）、北海道観光振興機構（会長、専務理事）に拠出金事業の概要説明と令和5年度予算措置の要望を行った。

(7) 正副会長・支部長合同会議

日時 令和5年3月17日

(8) 支部事務局長会議

日時 令和5年3月17日

5. その他会議、セミナー等

(1) 令和5年度「観光振興事業功労者支部長表彰」選考委員会

開催日 令和5年3月2日

開催場所 札幌市 ホテルポールスター札幌

選考委員 北海道観光振興機構、北海道庁、北海道旅客鉄道株式会社

支部長表彰

【個人】

竹田 勝治 氏

【団体】

小樽観光ガイドクラブ

北海道斜里高等学校

6. 令和4年度 支部関係会議・セミナー等の参加・協力

会議名	月日	場所等	主催者
「北海道観光振興機構第1回事業報告検討会」	4月6日	リモート会議	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第2回事業報告検討会」	4月18日	リモート会議	北海道観光振興機構
ユニバーサルツーリズム推進事業審査会	4月20日	機構会議室	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第4回事業報告検討会」	5月23日	リモート会議	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第5回事業報告検討会」	6月6日	リモート会議	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第7回事業報告検討会」	7月4日	機構会議室	北海道観光振興機構
観光事業環境変動対策特別事業審査会	7月12日	機構会議室	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第8回事業報告検討会」	7月19日	機構会議室	北海道観光振興機構
令和4年度デジタルマーケティング事業審査会	7月22日	かでの2・7	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第9回事業報告検討会」	8月1日	機構会議室	北海道観光振興機構
令和4年度アイヌ文化部会	8月2日	かでの2・7	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第11回事業報告検討会」	9月12日	機構会議室	北海道観光振興機構
令和4年度アイヌ文化研修会	10月25日	かでの2・7	北海道観光振興機構
令和4年度アイヌ文化研修会	10月26日	平取町	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第13回事業報告検討会」	11月7日	機構会議室	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第14回事業報告検討会」	11月21日	機構会議室	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第15回事業報告検討会」	12月5日	機構会議室	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第16回事業報告検討会」	12月19日	機構会議室	北海道観光振興機構

北海道インバウンド観光連絡会議	12月20日	リモート会議	北海道運輸局
「北海道観光振興機構第17回事業報告検討会」	1月10日	機構会議室	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第18回事業報告検討会」	1月23日	機構会議室	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第21回事業報告検討会」	3月6日	機構会議室	北海道観光振興機構
「北海道観光振興機構第22回事業報告検討会」	3月20日	機構会議室	北海道観光振興機構

## II 全国広域観光振興事業

### 1. 北海道ブロック広域観光振興事業

#### (1) 観光客受入整備事業

##### ①北海道観光50年の軌跡」セミナー

「北海道観光50年の軌跡」発行を記念してアフターコロナの観光振興に向けたセミナーの開催を通じて新たなネットワークづくりを目指し、根室市、札幌市、函館市の3か所で一般財団法人北海道開発協会とともに「北海道観光50年の軌跡」セミナーを開催した。

#### 【根室会場】

開催日 令和4年8月23日（火）

参加者 26名

開催場所 根室市 北海道立北方四島交流センター「ニ・ホ・ロ」

内 容

##### ●基調講演

- ・「北海道観光を盛り上げる」

北海道バリュースコープ株式会社代表取締役社長 三浦 重道氏

- ・「事業環境の変化にどう対応してきたか」

大地みらい信用金庫上級アドバイザー 阿部 欣司氏

##### ●パネルディスカッション

「ポストコロナにおける根釧地域の新しい観光を目指して」

<パネリスト>

一般社団法人ひがし北海道自然美への道 DMO 代表 上野 洋司氏

北海道バリュースコープ株式会社代表取締役社長 三浦 重道氏

大地みらい信用金庫上級アドバイザー 阿部 欣司氏

<コーディネーター>

一般財団法人 北海道開発協会開発調査総合研究所主席研究員 黒田 秀徳氏

#### 【札幌会場】

開催日 令和4年9月7日（水）

参加者 71名

開催場所 北洋銀行セミナーホール

内 容

##### ●基調講演

「観光を取り巻く産業の進化史」 札幌大学名誉教授 佐藤 郁夫氏

「北海道観光の新しい価値創造を目指して」

北海道建設業信用保証株式会社 取締役 和泉 晶裕氏

##### ●パネルディスカッション「ポストコロナにおける、新たなビジネスチャンス」

<パネリスト>

株式会社第一滝本館代表取締役 南 智子氏  
株式会社ナチュラクス専務取締役 石平 清美氏  
川島旅館三代目女将 松本 美穂氏  
＜コーディネーター＞  
前株式会社北洋銀行地域産業支援部特任審議役 神 姿子氏

#### 【函館会場】

開催日 令和4年9月29日（木）  
参加者 39名  
開催場所 函館市中央図書館視聴覚ホール  
内 容

●基調講演「函館観光の歴史」

前函館山ロープウェイ株式会社代表取締役専務 櫻井 健治氏

●事例紹介

「公共温泉に取り組んできたアンビックス」

株式会社アンビックス 副会長 前川 勝美氏

「MICE の重要性」

一般社団法人さっぽろ北海道 MICE 振興協会専務理事 根子 俊彦氏

●パネルディスカッション「ポストコロナにおける新たな函館観光を目指して」

＜パネリスト＞

前函館山ロープウェイ(株)代表取締役専務 櫻井 健治氏

五稜郭タワー株式会社専務取締役 中野 晋氏

株式会社アンビックス 副会長 前川 勝美氏

一般社団法人さっぽろ北海道 MICE 振興協会専務理事 根子 俊彦氏

＜コーディネーター＞

北海道エアポート株式会社営業開発本部観光開発部担当部長 安田 稔幸氏

#### ②ボランティア活動の推進

ボランティア相互の連絡協調と発展を図り、本道の観光ホスピタリティ運動の高揚に資するため  
に実施する「2022 観光ホスピタリティ全道大会 in むろらん」（主催：北海道観光ボランティア連  
絡協議会）に対し、関係団体と協力して支援することにより地域のボランティアの資質向上に努め  
た。

#### (2) 観光客誘致事業

##### ①「宿フェス 2023」の実施

国内旅行市場の活性化につながるイベントとして 47 都道府県の宿泊施設が手掛ける新しい旅博  
が令和 5 年 2 月に東京ビッグサイトで開催され、北海道ホテル旅館生活衛生同業組合と協力して出  
展し、本道の観光魅力を首都圏消費者に宣伝紹介した。

開催日 令和 5 年 2 月 7 日（火）～ 8 日（水）

開催場所 東京ビッグサイト（能率協会主催のホテルレストランショーと併催）

主 催 全国ホテル旅館生活衛生同業組合連合会青年部

内 容 北海道の観光パンフレット、旅館パンフレットの配布

来場者への観光相談対応 海難事故の風評被害に落ち込む知床応援のために知床地  
域の特産品の販売

## ②「北海道の物産と観光展」への出展

道外主要 27 都市の百貨店（32 会場）で開催する「北海道の物産と観光展」において観光部門の重点会場（6 会場）を選定し、その中でパルクアベニュー・カワトク店に担当者を派遣し、観光ブースを設営して本道の観光魅力を消費者に宣伝紹介した。

開催日 令和 4 年 10 月 30 日（日）～11 月 2 日（水）  
開催場所 パルクアベニュー・カワトク（岩手県盛岡市）  
主催 北海道、北海道観光振興機構、北海道貿易物産振興会  
協力 日本観光振興協会北海道支部  
内容 観光コーナーを設置し、北海道の観光 DVD の放映、ポスター掲示、北海道の観光パンフレット、ノベルティの配付

## 2. 地域と連携して実施する観光振興事業

### (1) With コロナ、ポストコロナ時代の旅行形態の変化についての分析調査

実施時期 令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月

実施内容

北海道観光振興機構、目白大学、一般社団法人地域力発掘力サポートネット共同研究チームとともに

機構の LINE 登録者等を対象に Google フォームを活用して道内旅行客の With コロナ、ポストコロナ時代の旅行形態の変化を調査分析。分析結果については 3 月 10 日に報告会を開催し、観光関係者に周知を行った。

### (2) 政策セミナー開催に関する報告書

事業実施内容

北海道の観光戦略・観光政策にフィードバックさせるための啓発セミナーとして SDGs の重要性や観光関連事業者が取り組むべき意義について理解を深めるセミナーを開催した。  
また、北海道観光振興機構が観光を通して心身共に健康になる「ケア・ツーリズム」を重点施策に位置付けていることから「癒し」と「健康」を組み合わせた観光の高付加価値化について理解を深めるセミナーを開催した。

#### ①SDGs に関するセミナー開催概要

開催日 令和 4 年 7 月 14 日（木）

開催場所 TKP 札幌ビジネスセンター赤レンガ前

参加者 109 名

内容 講演テーマ

「SDGs がもたらす観光市場の激変～サステナブルツーリズム要請にどう応えるか」

講師 SDGs パートナーズ有限会社代表取締役 CEO 田瀬 一男氏

#### ②ケアツーリズムセミナー開催概要

開催日 令和 4 年 11 月 8 日（火）

開催形態 Web-オンライン形式

参加者 80 名

内容 講演テーマ 「Medical × 「？」の可能性」

講師 脳神経外科医／環境宇宙航空医学認定医 道下 将太郎氏

## ■東北支部

### I 全国広域観光振興事業

#### 1. 台湾における東北プロモーション（ブロック別広域観光振興事業）

東北観光推進機構が12月に台北市で開催した「一般消費者向けイベント『日本東北遊楽日』」「旅行会社等向けセミナー・商談会」「主要航空会社へのキャラバン」「東北教育旅行に関心の高い学校関係者・旅行会社への訪問」の運営を支援した。

一連のプロモーションにより、台湾市場における東北への関心を高めることができた。

一方で、日台の水際対策緩和時期が読み切れず実施決定が遅れたことから、次年度以降は早期の会場確保、周知を検討する。

##### (1) 一般消費者向けイベント「日本東北遊楽日」

日 時：令和4年12月17日（土）～18日（日）

会 場：台湾・台北市華山1914文化创意産業園区西1館

来場者数：78,371名

出展団体：20

初日の悪天候にもかかわらず多くの来場者が会場前から行列を作り、2014年から開催し続けている本イベントの周知度と訪東北意欲の高さを実感した。

オープニングイベントでは台湾観光局と台日関係協会に登壇していただき、双方向の交流拡大の必要性を改めて確認した。

東北・新潟の各県市によるステージイベント・伝統工芸ワークショップ、観光事業者によるブース出展と商品販売はいずれも大盛況だった。

##### (2) 旅行会社等向けセミナー・商談会

日 時：令和4年12月17日（土）

会 場：台湾・台北市華山1914文化创意産業園区西1館

参加団体：48団体

台北市旅行商業同業公會の協力を得て、各県市によるプレゼンテーションと、観光事業者・学校関係者との商談会を実施した。①と同会場であることから、商談会では台湾側が日本側出展ブースを回遊して商談する形式を採った。

#### 2. フェニックス塾の運営支援（地域と連携して実施する観光振興事業）

東北観光推進機構が2016年度から開催している観光人材育成事業「フェニックス塾2022年度第七期」の運営支援を行った。6月から計8回の講義・エクスカージョン・グループ研究発表を行い、3月に38名（第一期からの累計256名）が修了した。

今年度は、日本観光振興協会本部からも1名が受講生として参加し、東北支部内の関係者との連携を図った。

#### 3. 東北ブロック広域観光振興事業推進協議会の運営

1. 2. の実施概要について協議するため、6月17日（金）と10月6日（木）にオンラインで開催し、東北観光推進機構に運営支援を委託した。

## II 支部運営事業

一般社団法人東北観光推進機構へ運営を委託した。

### 1. 第59回東北支部会員総会の開催、令和4（2022）年度観光振興事業功労者の表彰

総会の審議内容について、令和4年6月17日にオンライン説明会を行い、書面審議を行う形式で開催した。コロナ禍により支部総会の開催を見送ったため、以下の令和4年度の支部長表彰者に対しては、表彰状を別途送付した。会長評者に対しては本部総会にて表彰式を実施した。

【令和4（2022）年度観光振興事業功労者】

区分	所属団体	役職	氏名 (敬称略)
会長表彰	株式会社山水荘	社長	渡邊 和裕
東北支部長表彰	公益社団法人青森県観光連盟	理事長	奈良 秀則
	一般社団法人男鹿市観光協会	顧問	加藤 義康
	公益財団法人福島県観光物産交流協会	副理事長	小口 憲太郎

### 2. 各種会議への出席

次の各団体の会議・イベントに出席した。

時期	会議・イベント
5月	栃木・南東北国際観光テーマ地区別推進協議会（オンライン）
5月	北東北三県観光立県推進協議会理事会・総会（書面）
5・6月	山形デスティネーションキャンペーン推進協議会理事会・総会（書面）
5・6・11・3月	東北観光推進機構理事会・総会
11月	第7回新しい東北観光シンポジウム
12月	みちのく五大雪まつり推進協議会（書面）
1月	日本旅行業協会東北支部新春交賀会
1月	観光関係者交流会
1・3月	広域周遊観光促進に係る東北ブロック連絡調整会議（一部書面）
3月	観光ビジョン推進東北ブロック戦略会議

### 3. 本部との連携業務

#### (1) 理事会・総会への参加

#### (2) 全国広域観光振興事業運営評議会

全国広域観光振興事業運営評議会に、東北ブロック代表として次の方に委員として出席していただいた。

区分	会員	役職	氏名 (敬称略)
都道府県	秋田県	観光文化スポーツ部長	石黒 道人
観光協会 (連盟等)	公益財団法人福島県観光物産交流協会	常務理事兼事務局長	中村 伸裕

#### (3) 美化プランターの配布

前年度の応募結果に基づき、軽米町へプランター配布を行った。

## ■ 関東支部

### I 広報啓発事業

- ・ 支部管内観光関係団体に参画し、観光客誘致活動を支援
- ・ 関東地区路線図の作成

### II 観光地域づくり基盤・受入体制整備促進事業

#### 1. 観光振興事業功労者の表彰

- ・ 関東支部長表彰 11 名

#### 2. 美化事業

- ・ 花の観光地づくり事業への支援

花による景観整備のためのプランターの贈呈

茨城県茨城町、千葉県印西市観光協会、埼玉県鴻巣市観光協会、静岡県御殿場市  
(以上 4 箇所、18 個)

- ・ 観光地合同美化キャンペーンの実施及び支援・管内各観光協会等と連携して実施

茨城県：水戸市、栃木：西那須野観光協会、群馬県：千代田町、埼玉県：横瀬町観光協会、  
東京都：こだいら観光まちづくり協会、山梨県：富士山をきれいにする会、  
静岡県：富士山をいつまでも美しくする会 (以上、7 団体)

### III 観光交流活性化事業

#### 1. 共同観光宣伝事業の実施

- ・ 東日本広域観光展 IN 大宮駅 2022 (令和 4 年 7 月 22 日～7 月 25 日 JR 大宮駅)

#### 2. 催事への後援・協賛

### IV 観光情報収集・提供システム整備事業

- ・ 関東ブロック観光情報システム連絡会議 (令和 4 年 7 月 書面開催)

### V 組織活動事業

#### 1. 諸会議の開催

- ・ 令和 4 年度第 103 回評議員会 (令和 4 年 4 月 22 日 ホテルエドモント東京)
- ・ 令和 4 年度第 59 回関東支部会員総会 (令和 4 年 5 月 24 日 ホテルエドモント東京)

#### 2. 諸会議への参加

- ・ 支部管内会員総会への出席
- ・ 中央日本観光協議会令和 4 年度定例会 (令和 4 年 5 月 書面開催)  
臨時総会 (令和 5 年 3 月 17 日 書面開催)
- ・ 運輸局関係及び観光事業推進諸会議への参加  
関東観光広域連携事業推進協議会総会 (令和 4 年 6 月 1 日 都道府県会館)  
訪日外国人旅行者受入に向けた観光ビジョン推進関東ブロック戦略会議  
訪日外国人旅行者受入に向けた観光ビジョン推進北陸信越ブロック戦略会議  
(上記 2 会議はオンライン開催)

#### 3. 各種推進活動への支援等

### VI 全国広域観光振興事業

#### 1. 関東ブロック広域観光振興事業推進協議会

第 1 回 (令和 4 年 4 月 22 日 ホテルエドモント東京)

- 第2回（令和4年7月5日 新橋）
2. 関東甲信越静岡観光協会・連盟協議会
- ・総会（令和4年4月22日 ホテルエドモント東京）
  - ・委員会
    - 第1回（令和4年6月11日～12日 横須賀市）
    - 第2回（令和4年10月20日～21日 静岡市）
    - 第3回（令和5年2月24日 日観振会議室）
3. ブロック別広域観光振興事業
- ・台北国際旅行博（ITF2022）出展（令和4年11月4日～11月7日 台湾台北市）
  - ・ふるさと観光展 IN 仙台駅の実施（令和4年10月5日～7日 JR仙台駅）
  - ・関東ブロック観光宣伝資料作成  
関東甲信越静岡広域観光情報誌・MID JAPAN（中国語・繁体字）
4. 全国広域観光振興事業
- ・地域と連携して実施する観光振興事業  
観光宣伝資料の作成（関東ブロック路線図）
5. 本部主催事業への支援
- ・各全国大会等の支援  
ツーリズム EXPO ジャパン（令和4年9月22日～24日 東京ビックサイト）  
全国産業観光フォーラム（令和4年6月27日～28日 小田原市）
  - ・新春観光団体交流会（令和4年4月25日 東京プリンス）

## ■中部支部

### I 観光地域づくり基盤・受入体制整備促進事業

1. 観光振興事業功労者の表彰
  - ・中部支部長表彰 6名
2. 観光土産品推奨認定審査会等の共催、後援
  - ・愛知県観光土産品推奨及び認定審査会 他2件
3. 観光地美化事業への支援
  - ・観光地へのプランター贈呈（中部支部管内2箇所）
  - ・美化キャンペーン事業支援
4. コンクール開催支援
  - ・東海・北陸学生ドライブスタンプラリーコンテスト（JAF 中部支部主催）
5. 広域観光の促進事業
  - ・昇龍道プロジェクト事業に参画
  - ・「中部の山車・からくり情報」ホームページ運営

### II 人材育成事業

- 会員主催の研修会・講演会の共催、後援
- ・福井県観光連盟「教育旅行受入体制強化研修」（令和4年9月8日 福井市） 他1件



### Ⅲ 観光交流活性化事業

#### 1. 地域インバウンド推進事業

- ・「自然と共生する中部地区のプロモーション」（インフルエンサー招請事業）JR 東海、富山県、石川県、福井県、岐阜県連携
- ・「中部圏インバウンドセールスプロジェクト」参画
- ・「ふるさと全国県人会まつり 2022」（令和4年9月 名古屋市）
- ・観光展用ツール（手さげ紙袋）作成

#### 2. 双方向交流推進事業

- ・愛知・岐阜広域観光推進協議会に参画

#### 3. 行催事の共催・後援等

- ・福井観光商談会（令和4年6月17日、他計3回） 他5件

### Ⅳ 組織活動事業

#### 1. 諸会議の開催

- ・令和4年度中部支部会員総会（令和4年6月2日 福井市）
- ・令和4年度中部支部評議員会（令和5年3月27日 名古屋市）

#### 2. 諸会議への参加

- ・支部管内観光協会・連盟・その他観光団体の総会への出席
- ・中部運輸局主催会議への参加  
観光ビジョン推進中部ブロック戦略会議合同WG（令和4年9月28日 オンライン）  
観光ビジョン推進中部ブロック戦略会議（令和5年2月24日 名古屋市・オンライン併催）  
「昇龍道」連絡調整会議（令和4年8月15日 書面開催） 他2回
- ・北陸信越運輸局主催会議への参加  
観光ビジョン推進北陸信越ブロック戦略会議（令和5年2月27日 オンライン）
- ・その他観光事業推進諸会議への参加

### Ⅴ 全国広域観光振興事業

#### 1. 中部ブロック広域観光振興事業会議開催（令和5年3月27日 名古屋市）

#### 2. ブロック別広域観光振興事業

- ・交流促進・広域観光事業  
台北国際旅行博出展（ITF2022 令和4年11月4日～7日 台北市）  
ツーリズム EXPO ジャパン 2022 出展（令和4年9月22日～25日 東京都）
- ・情報発信事業  
台湾向け繁体字Facebook「栗太郎の日本栗険記」を活用した情報発信  
台湾向けショート動画（Vlog）作成・Facebook投稿  
中部5県産業観光パンフレット「Discover! モノづくりのココロ・日本の真ん中」作成
- ・観光魅力創造事業  
Instagramを活用した写真投稿キャンペーン（テーマ「中部の産業観光」）開催（令和4年9月20日～11月20日）  
「産業観光フォーラム in 名古屋」開催（令和4年10月19日 名古屋市）

#### 3. 全国広域観光振興事業

- ・地域と連携して実施する観光振興事業  
「ふくい発酵ツーリズムオンライントークショー」開催（令和4年11月20日 福井市）  
「愛知県観光フォーラム in 名古屋」開催（令和5年1月23日 名古屋市）

## ■関西支部

### I 観光地域づくり基盤・受入体制整備促進事業

1. 観光振興事業功労者 関西支部長表彰 7名 (令和4年5月27日 大阪市)
2. 観光地美化事業
  - ・観光地美化奉仕団体(個人)の関西支部長表彰 5箇所
  - ・観光地美化プランター配布事業 1箇所 (兵庫県三木市)

### II 人材育成事業

会員及び本部主催の研修会への支援

- ・万博開催に向けた関西全体のパビリオン化のための有識者検討会への後援(令和5年3月13日)  
(主催:近畿運輸局)

### III 観光交流活性化事業

#### 1. 地域インバウンド推進事業

- ・会員観光視察の実施(大阪市)  
総会終了後に観光地視察を実施 サンタマリア号乗船(令和4年5月27日)
- ・関西観光ポスターの掲出(大阪市)  
関西支部会員の観光ポスターを掲出(令和5年3月22日~31日)
- ・会員観光ポスター・パンフレットの掲出(大阪市)  
「日本列島心のふるさと観光展」と連携しポスター、パンフレットを掲出(12回)  
令和4年4月6日~19日、5月10日~23日、6月7日~20日、7月8日~21日、  
8月5日~18日、9月9日~22日、10月7日~20日、11月9日~22日、12月2日~15日、  
令和5年1月11日~24日、2月7日~20日、3月10日~23日
- ・デジタルサイネージを活用した観光誘客宣伝支援事業  
関西7府県の桜スポット紹介(令和5年3月 JR博多駅)
- ・催事への後援・協賛  
奈良薪御能行事 他16箇所

### IV 組織活動事業

#### 1. 諸会議の開催

- ・令和4年度関西支部会員総会(令和4年5月27日 大阪市)
- ・令和4年度役員会(令和4年5月20日 大阪市、令和5年3月23日 大阪市)
- ・事務局長会議(令和4年12月19日 大阪市)

#### 2. 諸会議への参加

- ・支部管内会員総会への出席
- ・関係機関の実施する会議への参加  
観光ビジョン推進関西ブロック戦略会議  
関西ブロック連絡調整会議  
近畿観光まちづくりアドバイザー会議  
大阪地区「海の月間」実行委員会  
関西・北陸交流会  
ツーリズム EXPO ジャパン 2023 大阪・関西 関西各部会

## V 全国広域観光振興事業

### 1. 関西ブロック広域観光振興事業推進協議会の開催

(令和4年6月24日 大阪市、令和5年3月23日 大阪市)

### 2. ブロック別広域観光振興事業

- ・ウエルカム関西観光ガイドマップ作成(日本語版) 5,000部
- ・ウエルカム関西観光ガイドマップ作成(英語版) 3,000部
- ・ツーリズムEXPOジャパン2022への出展協賛(令和4年9月22日～25日 東京ビッグサイト)
- ・台湾向けFacebook情報発信事業(令和4年4月～令和5年3月 全28回)
- ・観光デジタルプロモーション研修会の開催(令和4年12月8日 対面・オンライン開催)

### 3. 全国広域観光振興事業

- ・デジタルサイネージを活用した観光誘致宣伝支援事業(JR大阪駅)  
ひょうご観光本部(令和4年8月22日～28日)  
和歌山県観光連盟(令和4年11月7日～13日)  
三重県観光連盟(令和4年11月28日～12月14日)  
びわこビジターズビューロー(令和5年1月2日～8日)  
大阪観光局(令和5年1月9日～15日)  
日本観光振興協会関西支部(令和5年2月20日～26日)  
奈良県ビジターズビューロー(令和5年2月27日～3月5日)  
京都府観光連盟(令和5年3月20日～26日)

## ■中国支部

### I 広報啓発事業

- ・支部管内観光関係団体に参画し、観光客誘致活動を支援
- ・中国地域内の旬の観光情報等を本部と連携し、全国に向け発信

### II 観光地域づくり基盤・受入体制整備促進事業

#### 1. 提案型観光地域づくり協働事業

中国地域内への集客力を高め、地域内宿泊や周遊促進等が見込める事業を募集、採択、支援  
(3団体)

- ・周南地域魅力発見～瀬戸内 美景めぐり 光・下松・周南～瀬戸内海を見渡す絶景の宿に泊まる2日間(旅行商品造成)  
(令和4年10月21日～22日開催。新たな魅力として産業観光の視点を取り入れた。  
参加人数27人。(株)たびまちゲート広島)
  - ・夏の鉄道フェア  
(令和4年8月27日～28日開催。ファミリー層のお出かけや旅行の機運を高めた。  
商業施設での開催。参加人数1,585人。(株)日本旅行広島支店)
  - ・JAL&ご縁の聖地 縁結びの日 特別企画 神在月に「goodな、つながりを。」イベント  
(令和4年11月3日～6日開催。ブランドコンセプトをメッセージし、出雲エリアのご縁テーマにおける旅行者の対象を広げた。参加人数約1,500人。公益社団法人島根県観光連盟)
- #### 2. 観光地美化事業
- ・観光地の美化清掃活動の実施支援(例年どおり公募したが、今年度は応募がなかった。)
  - ・観光地づくり美化プランター配布事業 1箇所(山口県田布施町・4基)

### Ⅲ 観光交流活性化事業

#### 1. 地域インバウンド推進事業

- ・中国5県広域観光地図「山陰山陽ゆったりマップ」（2023年版）作成  
作成部数:30,000部（中国5県及び中国5県観光連盟と共同）  
配布先:各種観光展、各県観光案内窓口、交通事業者、旅行エージェント等

#### 2. 双方向交流推進事業

- ・観光ニーズの把握調査事業（中国経済連合会と共同）  
令和5年3月完了 「中国地域在住者のコロナ禍における観光意識に関する調査」

### Ⅳ 組織活動事業

#### 1. 諸会議の開催

- ・中国支部 令和4年度通常総会（令和4年5月31日 島根県松江市）
- ・中国支部 令和4年度臨時総会（令和5年1月30日 書面表決）
- ・令和4年度中国ブロック広域観光振興事業推進協議会（令和5年3月6日 広島県広島市）

#### 2. 諸会議への参加（オンライン参加・書面参加を含む）

- ・中国地域観光推進協議会総会・役員会
- ・観光ビジョン中国ブロック戦略会議、WG会議
- ・せとうち・海の道連絡調整会議
- ・山陰地域連絡調整会議
- ・インバウンド誘致強化委員会
- ・中国5県観光連盟専務理事等会議 等

### Ⅴ 全国広域観光振興事業

#### 1. ブロック別広域観光振興事業

##### (1) 観光展出展事業

- ・「ツーリズム EXPO ジャパン 2022」への出展（令和4年9月22日～25日 東京ビッグサイト）  
中国5県やJR西日本と共同で出展し、中国5県エリアの魅力を発信
- ・「中四国9県観光物産展」の共催  
①令和4年5月28日～29日 大阪府箕面市、②令和4年9月23日～25日 大阪市

##### (2) 広域観光推進事業

- ・「中国ブロック観光情報交換会」の共催  
（令和4年6月16日・令和4年10月20日・令和5年2月16日の3回、首都圏メディア向けオンライン配信及び集合開催、うち支部会員向け発表枠の活用2回）

#### 2. 地域と連携して実施する観光振興事業

##### ・人材育成支援事業

- 令和4年9月13日・14日 公益社団法人島根県観光連盟  
ワーケーションセミナー テーマ：ワーケーションの本音と本質
- 令和4年11月21日 一般社団法人下関観光コンベンション協会  
令和4年度下関観光サービス講習会
- 令和4年12月9日 広島県観光ボランティアガイド協議会（一般社団法人広島県観光連盟）  
令和4年度ホスピタリティ研修会
- 令和5年1月20日 公益社団法人岡山県観光連盟  
観光人材育成セミナー（オンライン併用のハイブリッド式）

## ■四国支部

### I 広報啓発事業

- ・支部管内観光関係団体に参画し、観光客誘致活動を支援

### II 観光地域づくり基盤・受入体制整備促進事業

#### 1. 観光振興事業功労者等の表彰

- ・観光事業功労者表彰4名 / 観光優良従事者表彰5名  
令和4年度四国支部観光事業功労者

所 属 団 体	役 職	氏 名
阿波おどり振興協会	常任理事	中 村 睦 男
徳島県阿波踊り協会所属 みやび連	連長	中 野 貞 昭
藤西阿観光株式会社	代表取締役社長	藤 川 善 則
今治地方観光ボランティアガイドの会	顧問	石 井 一 朗

### III 人材育成事業

#### 1. 四国4県観光協会等実施の研修事業への支援

### IV 観光交流活性化事業

#### 1. 中四国9県観光・物産プロモーションへの協力

中四国観光物産展の開催 5月28日、29日

9月23日～25日

主催：在阪中四国県事務所協議会

協力：公益社団法人日本観光振興協会中国支部  
四国支部

### V 組織活動事業

#### 1. 諸会議の開催

- ・令和4年度四国支部常任評議員会 (令和4年6月6日 高松市)
- ・令和4年度第59回四国支部通常総会 (令和4年6月6日 高松市)

#### 2. 諸会議への参加

- ・四国ツーリズム創造機構主催会議  
第2回意見交換会 (令和4年10月12日 徳島市)  
第3回意見交換会 (令和4年12月22日 高松市)
- ・四国運輸局主催会議  
観光ビジョン推進四国ブロック戦略会議 (書面決議)
- ・その他管内諸会議等

### VI 全国広域観光振興事業

#### 1. 会議の開催

- ・四国ブロック広域観光振興事業推進協議会第1回担当者会 (令和4年4月27日 高松市)
- ・四国ブロック広域観光振興事業推進協議会第2回担当者会 (令和4年6月16日 徳島県・海陽町)

- ・四国ブロック広域観光振興事業推進協議会第1回検討会 (令和5年1月19日高松市)
- ・四国ブロック広域観光振興事業推進協議会第2回検討会 (令和5年3月15日高松市)
- ・四国ブロック広域観光振興事業推進協議会 (令和5年3月30日 リモート)

## 2. ブロック別広域観光振興事業

- ・訪日台湾教育旅行誘致事業

### ①訪日台湾教育旅行四国交流支援特使委嘱式の実施 (4月26日 高松市)

令和3年度に設置した訪日台湾教育旅行四国交流支援特使制度に基づき推薦・確定した委嘱候補者に正式に特使に就任いただくため、委嘱式を実施した(委嘱者28名)。

また、四国教育旅行説明会を実施し特使の方々へ台湾国際教育旅行の現況や四国の取組を紹介したほか、教育旅行素材の視察体験(栗林公園(高松市))や特使同士の情報交換の場として交流会を実施した。

### ②現地セミナー、オンライン個別相談会(11月22日 リモート)

JNTOが主催する訪日台湾教育旅行現地セミナー・オンライン個別相談会に4県観光協会、四国支部の計5ブースを設けて参加し、個別相談を実施した。

### ③日台教育旅行関係者交流会(2月14日 東京)、台湾教育関係者招請(2月14日～18日 四国4県)

JNTOが主催する日台教育旅行関係者交流会に参加するとともに、国内招請事業として台湾教育関係者を四国に招き、四国内の高校や観光資源等を視察いただいた。

### ④オンライン学校交流の支援

訪日して学校交流ができない中、日台お互いの生徒が自らの考えを深め、より強い絆を感じられるよう、オンライン交流に対して支援を実施した。

## 訪日台湾教育旅行オンライン交流支援一覧(令和4年度)

開催日	台湾学校名	四国交流学校名	参加人数
12月9日	国立潮州高級中学	徳島市立高等学校	(台湾) 生徒28名、教師5名 (四国) 生徒14名、教師3名
12月21日	国立二林高級工商職業学校	徳島県立つるぎ高等学校	(台湾) 生徒9名、教師4名 (四国) 生徒9名、教師3名

- ・台湾向け四国旅行意欲増進事業(11月12日、13日 台湾・台北市)

「Feel the 四国」四國美食・祭典・観光嘉年華

多くの人が集う台北・花博公園にあるMAJI集食行楽円形廣場を会場として、四国の祭りである「阿波踊り」や「よさこい」等によるステージイベント、「さぬきうどん」や「鯉のたたき」などの四国の食、そしてモニター画面による四国からの情報発信等を展開し、日本への旅行を待ち望んでいる台湾の人に直接四国の魅力を届け、四国への旅を強く訴求した。

※イベント参加者数 11,875人

## 3. 地域と連携して実施する観光振興事業

- ・四国観光地域づくりセミナー(2月10日、台湾・花蓮県、リモート開催)

「台湾と四国の縁を学ぶオンラインセミナー」

主 催 日本観光振興協会四国支部  
徳島県観光協会

- ・「四国八十八ヶ所案内」四国観光地図配布

## ■九州支部

### I 広報啓発事業

- ・「九州観光マップ（日本語版）」の改訂（40,000部作成）  
九州各県の主要観光案内所及び県外の各県事務所、一般社団法人九州観光機構へ配布  
九州ブロック広域観光振興事業と併せて実施

### II 観光地域づくり基盤・受入体制整備促進事業

- ・観光振興事業功労者の表彰  
九州支部長表彰 個人7名、団体1団体
- ・花の観光地づくり事業への支援（プランター配布事業）  
熊本県人吉市（人吉クラフトパーク）への設置

### III 人材育成事業

- ・観光教育の推進  
九州小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会研究大会 観光教育授業の研修会参加  
（令和4年11月18日 熊本市内実施）  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施可能教育機関の希望が無く未実施

### IV 観光交流活性化事業

#### 1. 地域インバウンド推進事業

- ・「九州の観光地」と「旅のエチケット」の展開  
「全国旅行支援」の実施にあたり、九州の観光地のアピールと新しい旅のエチケットの展開を告知するために、ポスターやサイネージ、動画等により九州島内・広島・岡山地区へPRを実施。  
九州ブロック広域観光振興事業と併せて実施
- ・ポスター展開
  - ① JR九州車両（普通列車）及び福岡空港連絡バスの社内吊ポスター掲出  
ポスターの仕様・枚数：中吊りワイドB3×2 1,500枚  
掲出期間：令和4年10月25日～令和5年3月31日
  - ② 九州新幹線（N700系）ドア横ポスター  
さくら・みずほ 新大阪～鹿児島中央間  
ポスターの仕様・枚数：B3 80枚  
掲出期間：令和4年11月1日～令和4年12月31日
- ・デジタルサイネージの展開
  - ① 九州の主要駅11駅（60インチ～90インチ）にて掲出  
掲出期間：令和4年11月1日～30日
  - ② 広島駅・岡山駅での掲出  
岡山駅地下改札口1面、地下通路8面、新幹線コンコース15面  
広島駅：新幹線構内コンコース20面・新幹線コンコース12面・北口コンコース10面  
掲出期間：令和4年11月1日～30日

### V 組織活動事業

#### 1. 諸会議の開催

- ・令和4年度 第126回評議員会（令和4年5月26日 福岡県福岡市）
- ・令和4年度 第59回九州支部通常総会（令和4年5月26日 福岡県福岡市）

## 2. 諸会議の参加

- ・支部管内会員総会への参加
- ・九州クルーズ振興協議会総会・セミナー 令和4年7月28日 福岡市
- ・九州観光ボランティアガイド研修会実行委員会 令和4年7月28日 福岡市(Web)
- ・九州・沖縄観光連盟等連絡会議会計監査 令和4年8月2日 福岡市
- ・九州観光ボランティアガイド代表者会議 令和4年8月30日 福岡市(Web)
- ・九州・沖縄観光連盟等連絡会議(常務理事・事務局長会議)  
令和4年9月15日～16日 嬉野市
- ・九州・沖縄観光連盟等連絡会議(会長会議) 令和4年11月29日～30日 長崎市
- ・ツーリズム EXPO「九州各県担当者」会議 令和4年12月15日 福岡市(Web)
- ・九州・沖縄観光連盟等連絡会議(担当者会議) 令和4年12月15日～16日 奄美市
- ・広域周遊観光促進連絡調整会議(温泉アイランド九州連絡調整会議・九州運輸局)  
令和5年1月17日 福岡市(Web)
- ・九州観光ボランティアガイド研修会 令和5年2月1日～2日 佐世保市
- ・令和4年度観光ビジョン推進九州ブロック戦略会議5WG合同会議 九州運輸局  
令和4年2月～ (書面審議)
- ・広域周遊観光促進連絡調整会議(温泉アイランド九州連絡調整会議・九州運輸局)  
令和5年3月15日 (書面審議)
- ・その他管内諸会議、Webセミナー等への参加

## VI 全国広域観光振興事業

### 1. 九州ブロック広域観光振興事業

九州観光推進機構との共同事業

- ① 九州八十八湯めぐりパンフレットの作成  
掲載の温泉施設やJR九州の主な駅に配布  
仕様：A4サイズ20P、両面4色カラー  
作成部数：24,300部 (配布箇所：208箇所)
- ② 国内観光展への出展  
ツーリズム EXPO ジャパン 2022 (令和4年9月22日～9月25日)
- ③ 海外宣伝事業  
台北国際旅行博 ITF2022 への出展  
(令和4年11月4日～7日)
- ④ 九州観光ボランティアガイド研修会  
長崎県佐世保市 (令和5年2月1日～2日)

### 2. 地域と連携して実施する観光振興事業

・セミナー、イベント(共同実施事業)

- (1) 公益社団法人福岡県観光連盟  
観光従事者研修「九州オルレ研修」の実施(令和4年7月26日～7月27日)
- (2) 一般社団法人佐賀県観光連盟  
温泉入浴指導員養成講習会の実施(令和5年1月12日～1月14日)
- (3) 公益社団法人鹿児島県観光連盟  
着地型観光セミナーの実施(令和5年2月15日)



## ■沖繩支部

### I 全国広域観光振興事業

#### 1. ブロック別広域観光振興事業

##### (1) 令和4年度広域連携観光協会等会議

###### 目的

各地域の観光協会及び関連団体と全県的な防疫型観光推進体制の構築、地域観光団体の運営体制の強化を図るべく、定期的に情報交換を実施し連携強化に努め、沖縄県における観光・コンベンションの振興を推進することを目的とし、全体協議会、地区協議会(6地区)を開催した。また、各地域の観光協会間で共同利用できるコミュニケーションツール「Microsoft Teams」を活用したプラットフォームの構築を行った。

###### 全体総括

令和4年度において、観光協会間で共同利用できるコミュニケーションツールを活用したオンラインプラットフォームを構築した。令和5年度はその利用者数を増やし情報共有や意見を活発化させ協議会間の更なる連携強化を図りたい。また、各協会における運営体制や事業内容、課題等を取りまとめ、様々な視点から各団体の比較分析を行い、お互いの課題解決に繋がるよう、より一層踏み込んだ連携の在り方を目指す。今後の地区協議会においては、各地区が抱える課題に対し行政と共通認識をもてるよう必要に応じて県や各市町村のオブザーバー参加を呼び掛けたい。

###### 会議詳細

###### ①第1回沖縄県観光協会等協議会 全体協議会

開催日：令和4年7月1日(金)

会場：沖縄県市町村自治会館 2階ホール

参加団体：38団体(うちオブザーバー1団体)

###### 次第：

- 1) 開会の挨拶/OCVB会長 下地 芳郎 氏
- 2) 公益社団法人日本観光振興協会 事業計画/公益社団法人日本観光振興協会理事長 久保田 穰
- 3) 令和4年度 観光協会等関連事業の計画/OCVB 国内事業部部長 金城 孝 氏
- 4) OCVB 活動報告、告知
- 5) 地域観光協会の取組事例紹介/一般社団法人北中城村観光協会次長(CFO)原口 達樹 氏

###### ②北部地区協議会

開催日：令和4年10月21日(金)

会場：北部会館4階 研修室4-1

参加団体：9団体

###### 議題：

- 1) 観光客の視点に立った公共交通の見直しと整備(名護市観光協会)
- 2) 安全・安心をテーマとしたイベント(パトレイバー)(本部町観光協会)
- 3) 沖縄県観光部局 北部事務所の設置(本部町観光協会)
- 4) 「ちむどんどん」で使用された小道具の活用(OCVB)
- 5) 世界自然遺産認定後の取組み

③中部地区協議会

開催日：令和4年11月24日（木）

会場：沖縄商工会議所 中会議室

参加団体：9団体

議題：

- 1) 中部エリアの観光誘致を市町村の垣根を越えて実施（嘉手納町観光協会）
- 2) 中部地区協働で観光誘致を行う取組み（北谷ツーリズムデザイン・ラボ）
- 3) OCVB 観光情報サイトへの情報提供（北中城村観光協会）
- 4) 慢性的人材不足への対処（沖縄観光物産振興協会）
- 5) 「琉球王国のグスク」（中城村観光協会）

④南部地区協議会

開催日：令和4年12月8日（木）

会場：那覇市ぶんかテンプス館 3階会議室

参加団体：9団体

議題：

- 1) レンタカー不足に伴う代替交通手段の整備（南城市観光協会）
- 2) 各観光協会の修学旅行等の誘致・受入体制（豊見城市観光協会）
- 3) 地域間連携（OCVB）

⑤久米島地区協議会

開催日：令和4年11月16日（水）

会場：久米島町複合型防災・地域交流センター「ほんのもり」1階多目的室

参加団体：4団体

議題：

- 1) 観光事業者や行政との連携（渡名喜村観光協会・くめじまDMO）
- 2) 自主財源確保（くめじまDMO）
- 3) 情報収集、PRの方法（くめじまDMO）
- 4) 周辺離島間で連携した事業の実施（渡名喜村観光協会）
- 5) おきなわ彩発見Nextの対応（粟国村観光協会）
- 6) コロナ禍で影響を受けた事業者への支援（久米島町観光協会）
- 7) 持続可能な観光地経営、観光入域客数の平準化（久米島町観光協会）
- 8) 受入基盤の強化（久米島町観光協会）

⑥八重山地区協議会

開催日：令和4年12月23日（金）

会場：大濱信泉記念館 2階多目的ホール

参加団体：4団体

議題：

- 1) 観光関連事業者の人材不足の解消（石垣市観光交流協会）
- 2) 円安による物資や食材の高騰に対する対策（石垣市観光交流協会）
- 3) インバウンドの受入れに対する対策（石垣市観光交流協会）
- 4) 二次交通の取組み（八重山ビジターズビューロー）
- 5) 観光DX（八重山ビジターズビューロー）
- 6) 国内プロモーション（八重山ビジターズビューロー）
- 7) 漂着ゴミ問題（竹富町観光協会）

⑦宮古地区協議会

開催日：令和5年1月12日（木）

会場：JTA ドーム宮古島 会議室2

参加団体：3団体

議題：

- 1) 人材確保（多良間村ふしゃぬふ観光協会）
- 2) 行政との連携（多良間村ふしゃぬふ観光協会）
- 3) 海岸線及び海岸線における動植物の保護（池間島観光協会）
- 4) 宿泊税（宮古島観光協会）

⑧第2回沖縄県観光協会等協議会 全体協議会

開催日：令和5年3月3日（金）

会場：沖縄産業支援センター 1階大ホール

参加団体：39団体

次第：

- 1) 開会の挨拶 OCVB 会長 下地 芳郎
- 2) 各地区協議会報告
  - ・北部地区 一般社団法人本部町観光協会 会長 當山 清博 氏
  - ・中部地区 一般社団法人沖縄市観光物産振興協会 会長 島袋 隆 氏
  - ・南部地区 一般社団法人那覇市観光協会 常務理事兼事務局長 名嘉元 裕 氏
  - ・八重山地区 一般社団法人八重山ビジターズビューロー 会長 中山 義隆 氏
  - ・宮古地区 一般社団法人宮古島観光協会 会長 吉井 良介 氏
  - ・久米島地区 一般社団法人久米島町観光協会 会長 平良 博一 氏
- 3) 全体協議
  - ・一般社団法人恩納村観光協会の地区の変更
  - ・各地区協議会における共通課題
    - ①人材確保、②行政との連携、③地域間連携、④二次交通
    - ⑤コミュニケーションプラットフォーム「Teams」の活用
- 4) 令和5年度「沖縄観光親善大使ミス沖縄選出事業」休止について

(2) 令和4年度ミス沖縄及びミス沖縄OGによる地域観光キャンペーンレディ等のPRスキル向上事業目的

OCVBに所属する沖縄観光親善大使ミス沖縄は、県内外、海外で本県のPR業務を担っており、接遇マナー、歴史、文化、県内観光地視察等、年間を通じて研修を行い、情報収集やスキル向上を図っている。研修等で培ったスキルを地域へ還元するため、県内各市町村に所属する地域観光キャンペーンレディ等を対象に研修を実施した。本研修を通じて地域間の交流促進を図ると同時に、各地域観光キャンペーンレディ等のPRスキル向上と各地域がもつ魅力の再発見やその魅力の発信方法、それぞれの活動における目標を見出していく機会を創出することで、沖縄観光全体のプロモーション強化を図った。

全体総括

本研修を通じて、沖縄観光親善大使ミス沖縄が研修等で培ったスキルを地域へ還元し、県内各市町村に所属する地域観光キャンペーンレディ等のPRスキル向上を図った。また、参加者間の交流機会を創出したことで、地域間の横のつながりを形成し、研修後も意見交換を行える体制を構築した。今後も沖縄観光全体のプロモーション強化につながる研修を実施したい。

①研修第1弾

日程：令和5年2月7日（火）～2月9日（木） ※全3日間

場所：（1日目・2日目）沖縄産業支援センター1階 会議室  
（沖縄県那覇市字小禄 1813 番地1）

（3日目）国頭村 ※2021年に世界自然遺産に登録された沖縄島北部でのバスツアー参加

対象：県内各地域の観光親善大使、ミス及びキャンペーンレディ等

参加者数：1日目16名（6地域2機関）、2日目17名（6地域2機関）、  
3日目9名（3地域1機関）

内容：

日付	時間	内容	備考
2/7 (火)	10:00～10:30	研修趣旨説明、参加者自己紹介	OCVB事務局
	10:30～12:30	研修① 沖縄の伝統芸能について	講師：上原 唯氏 ※2014年ミス沖縄
	12:30～13:30	休憩	
	13:30～15:30	研修② マナー研修	講師：佐藤 英麻氏 ※2008年ミス沖縄
	15:30～	参加者振り返り・発表	
	15:50～	参加者記念撮影・修了証授与	
	16:15～17:15	参加者交流会	任意参加
2/8 (水)	10:00～11:00	第40代沖縄観光親善大使ミス沖縄活動紹介	
	11:00～12:00	講話「これまでの沖縄観光これからの沖縄観光」	講師： OCVB 下地芳郎会長
	12:00～13:00	休憩	
	13:00～15:00	地域活動紹介	県内地域ミス等
	15:00～15:30	参加者振り返り・発表	
	15:30～	参加者記念撮影・修了証授与	
	16:15～17:15	参加者交流会	任意参加
2/9 (木)	10:15～12:30	やんばるの森ネイチャーガイドツアー	国頭村
	12:30～	参加者記念撮影・修了証授与	

その他：

- 研修2日目の様子を琉球朝日放送（QAB）番組内で紹介いただいた。  
放送名：親しまれる親善大使めざす 観光PRスキルアップ研修  
放送日：令和5年2月24日（金）  
動画・記事URL <https://www.qab.co.jp/news/20230224163835.html>

②研修第2弾

日程：令和5年3月7日（火）13:00～15:00

場所：各所属機関等 ※オンライン配信

対象：県内各地域の観光親善大使、ミス及びキャンペーンレディ等

講師：琉球朝日放送（QAB）報道制作局/放送制作部 玉城 真由佳 氏

※第38代沖縄観光親善使節ミス沖縄スカイブルー

参加者数：11名（3地域2機関）

内容：

時間	内容	備考
12:50	参加者 Zoom 入室開始	

13:00～13:05	【はじめに】研修の趣旨・目的の説明	OCVB 事務局
13:05～14:35	【研修】メディアプロモーション	講師：玉城 真由佳氏
14:35～14:55	【質疑応答】及び【感想・振り返りの共有】	講師・参加者
14:55～15:00	【事務連絡】	OCVB 事務局

## 2. 地域と連携して実施する観光振興事業

### 1) ミス沖縄SNS配信による地域の魅力発信事業

#### 目的

沖縄観光親善大使ミス沖縄の3名より情報発信しているYouTube動画「おきなわ観光TV」やInstagramでは、県内各地域の魅力や最新情報を日々配信・掲載している。当該SNSツールを活用し県内各地域の魅力発信を強化することで、本県への観光客誘致に繋げることを目的に、ミス沖縄によるSNS等を通じた地域の魅力発信事業を実施した。また、今年度は本土復帰50周年の節目の年であること、更にはコロナ禍からの回復による観光需要の高まりもあったことから、より視覚的に情報が取得できるようコンテンツ作りをこだわり発信した。

配信期間：令和4年4月1日（金）～令和5年3月31日（金）

取材先：沖縄本島、八重山、宮古、久米島、伊平屋島

YouTube：投稿動画本数22本、視聴回数100,859回 ※3月15日（水）時点

Instagram：期間中投稿数130投稿 ※3月15日（水）時点

#### 【テーマ別魅力発信】

テーマ①「歴史」：Okinawan Back Story

内容：本土復帰50周年という節目を機に、SNSを通じて見ている方に楽しく分かりやすく沖縄の歴史を発信

テーマ②「バリアフリー」：カリンのうまんちゅのヒカリん

内容：年齢や性別、国籍、障害の有無に関わらずうまんちゅ（全ての人）に沖縄観光の光を感じていただくための情報を発信

テーマ③「地域」：新垣佳菜江：みつける！41のゆいま～る

内容：沖縄41市町村に広がるそれぞれの独自性に注目して、各地域の「ゆい」を巡り新しい沖縄の魅力を発信

---

## 全国広域観光振興事業（再掲）

---

### 1. 全国広域観光振興事業運営評議会等の開催

全国広域観光振興事業を実施するに当たり、学識経験者、地域の代表からのご意見を伺い、より効果的な事業とするため、全国広域観光振興事業運営評議会を2回開催した。

#### (1) 事業運営評議会の開催

第46回 令和4年7月28日（木）14:00～16:00 KKRホテル東京（東京都千代田区）

第47回 令和5年3月1日（水）14:00～16:00 KKRホテル東京（東京都千代田区）

#### (2) 全国広域観光振興事業運営評議会委員

（令和5年3月1日現在）

##### 学識経験者

青山 佳世 フリーアナウンサー

岡本 保 一般財団法人自治体国際化協会理事長

清野 智 独立行政法人国際観光振興機構理事長

中嶋 聞多 信州大学特任教授

安島 博幸 立教大学名誉教授

##### 都道府県職員各ブロック代表者

北海道 鶴蒔 徹 北海道観光局長

東北 石黒 道人 秋田県観光文化スポーツ部長

関東 辻 真夫 栃木県産業労働観光部長

中部 南里 明日香 富山県地方創生局長

関西 平田 千江子 奈良県観光局長

中国 鈴木 俊一 鳥取県観光交流局長

四国 山脇 深 高知県観光振興部長

九州 原山 明博 熊本県観光戦略部部長

##### 都道府県観光協会(連盟)ブロック代表者

北海道 中村 智 公益社団法人北海道観光振興機構専務理事

東北 中村 伸裕 公益財団法人福島県観光物産交流協会常務理事兼事務局長

関東 荒井 進 公益財団法人群馬県観光物産国際協会専務理事

中部 服部 敬 一般社団法人岐阜県観光連盟常務理事

関西 芳田 隆 公益財団法人大阪観光局常務理事

中国 上田 英夫 一般社団法人山口県観光連盟専務理事

四国 金子 浩一 一般社団法人愛媛県観光物産協会専務理事

九州 佐藤 良一 公益社団法人福岡県観光連盟専務理事

## 2. 事業実施等の状況

### I. 全国広域観光振興事業

#### [1] 世界に通用する魅力ある観光地域づくりの推進

##### (1) DMOの推進事業

【 2.(1)－3) 参照 P.17】、【 3.(3)－3) 参照 P.27】

##### (2) 地域と連携して実施する観光振興事業

【 P.44・45・48・49・51・52・54・56・61参照】

#### [2] 地域の担い手となる観光人材の育成

##### (1) 日本観光振興アカデミー・人材育成事業

【 3.(3)－2) 参照 P.25】

#### [3] 広域観光の推進

##### (1) 広域観光ルート整備促進事業

【 1.(3)－2) 参照 P.14】

##### (2) 広域観光推進に向けた諸会議等支援事業

【 5.(1)－1) 参照 P.31】

#### [4] 地域における双方向交流の促進と訪日外国人受入体制の整備

##### (1) 双方向観光交流促進事業

【 1.(4)－1) 参照 P.15】

##### (2) 旅行振興プロモーション支援事業

【 1.(4)－2) 参照 P.16】

#### [5] 観光需要の創造及び観光情報の収集・提供体制の整備

##### (1) 新たな観光の創出と需要創造事業

【 1.(3)－1) 参照 P.9】

##### (2) 観光情報の収集・提供体制の整備

【 2.(2)－2) 参照 P.20】

## II. ブロック別広域観光振興事業

北海道、東北、関東、中部、関西、中国、四国、九州及び沖縄の9ブロックの支部が各ブロック内の広域観光組織や各県等と連携して事業の企画・立案をし、各ブロック内の観光振興にとって最も効果的な事業を実施した。

地域名	事業内容
北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客受入整備事業</li> <li>・観光客誘致事業</li> </ul>
東北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾における東北プロモーション</li> </ul>
関東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第28回台北国際旅行博出展等</li> <li>・ふるさと観光展 IN 仙台駅</li> <li>・関東ブロック観光宣伝資料作成</li> </ul>
中部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台北国際旅行博出展</li> <li>・ツーリズム EXPO ジャパン出展</li> <li>・繁体字 Facebook を活用した情報発信（台湾向けショート動画作成・投稿）</li> <li>・インスタグラムを活用した写真投稿キャンペーン開催</li> <li>・中部5県産業観光パンフレット作成</li> <li>・「産業観光フォーラム in 名古屋」開催</li> </ul>
関西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエルカム関西ガイドマップ作成事業（日本語版・英語版）</li> <li>・ツーリズム EXPO ジャパン 2022 への出展協賛事業</li> <li>・台湾向け Facebook 情報発信事業</li> <li>・観光デジタルプロモーション研修事業</li> </ul>
中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光展出展事業</li> <li>・広域観光推進事業</li> </ul>
四国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日台湾教育旅行誘致事業</li> <li>・台湾向け四国旅行意欲増進事業</li> </ul>
九州	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州観光パンフレット等の制作</li> <li>・国内観光展出展事業</li> <li>・海外宣伝事業</li> <li>・九州観光ボランティアガイド研修会</li> </ul>
沖縄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度広域連携観光協会等会議</li> <li>・令和4年度ミス沖縄及びミス沖縄OGによる地域観光キャンペーンレディ等のPRスキル向上事業</li> </ul>